

長岡大学ブックレット 34

平成21～23年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」
(テーマB：学生支援推進プログラム) 採択プログラム
〈学生の3つの就職力一体形成支援プログラム〉

長岡大学のキャリア教育



NAGAOKA
UNIVERSITY
BOOKLET

長岡大学ブックレット刊行にあたって

平成22年1月

長岡大学長 原 陽一郎

長岡大学は開学9年目の平成21年度に、自己評価報告書（『長岡大学自己評価報告書』は本学ホームページに掲載）にもとづいて、財団法人日本高等教育評価機構による第三者評価を受けました。大学全体として高く評価されたと思います。私は、平成16年4月に長岡大学第2代学長に就任し、以来、大学改革を進めてきましたが、その改革の成果が認証評価をもたらしたものと考えております。

この5年間、地域の経済経営系の大学として、地域社会で実際に役立つ人材の育成と就職率100%をめざして、まず、建学の精神と大学・学部の使命・目的を次のように、明確にしました。これは、自己評価報告書に明記されています。

☆建学の精神

長岡大学の建学の精神は、長岡大学を設置する学校法人中越学園の起源である「斎藤女学館」の創設者である斎藤由松先生の教育観と、本学の前身である長岡短期大学の建学の精神を継承したものです。

- ・幅広い職業人としての人づくりと実学実践教育の推進
- ・地域社会に貢献し得る人材の育成

☆大学の使命・目的

- ・広く豊かな教養を授けるとともに、深く専門の学術を教授・研究し、実践的、創造的な能力を備えた有為な人材を育成して、人類の福祉と文化の向上に貢献すること

☆経済経営学部の使命・目的

- ・長岡大学は「ビジネスを発展させる能力と人間力を鍛える大学」です
- ・長岡大学は、学生に「毎日の大学生活で充実感を、能力アップを確かめて達成感を、卒業のとき4年間で振り返って満足感を」実感させます

同時に、この目的を達成すべく、本学独自の教育プログラム「産学融合型専門人材開発プログラム－長岡方式－」を平成17年度に開始しました。幸い、このプログラムは平成18年度の文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」＝現代GPに選ばれ、そして、翌平成19年度には「学生による地域活性化提案プログラム－政策対応型専門人材の育成－」が同じ現代GPに、「長岡地域産業活性化のためのMOT教育『イノベーション人材養成プログラム』」が文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に、選ばれました。これら3つのプログラムの採択による豊富な助成金を活用することにより、教育改革を進めて、本学の教育力を飛躍的に向上させることができましたと思います。本ブックレットシリーズはこの本学の教育の実態と成果を、地域社会の皆様や高校生諸君に知っていただくために刊行してきましたが、25号を数えるまでになりました。

しかし、改革当初の目標（就職率100%）は未だ達成できておりません。そこで、平成20年5月に長岡大学教育改革第2次戦略「就職力ナンバーワン計画」を策定、教育力を就職力にまで高めて目標の達成を目指すことにしました。平成21年8月に、本学の学生の就職力形成をめざす「学生の3つの就職力一体形成支援プログラム」が文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」（テーマB：学生支援推進プログラム）に選ばれました。本学はこれを契機に、まさに第2次改革戦略の時代に入りました。長岡大学は教育力－就職力の絶えざる練成・向上により、厳しい経済・人材市場を生き抜き、地域社会に貢献できる若者人材を育成し続けます。本学は、本ブックレット・シリーズを通して、本学の教育力－就職力の実態と成果を引き続きお知らせする決意であります。ご期待ください。

はじめにーブックレット刊行にあたってー

長岡大学長
就職力形成支援推進本部長 原 陽一郎



本ブックレット「長岡大学のキャリア教育」は、「学生の3つの就職力一体形成支援プログラム」（平成21～23年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」【テーマB】学生支援推進プログラム選定事業）を中心とした、長岡大学におけるキャリア形成・就職支援事業の骨格をとりまとめたものであります。

日本の大学は今、大きな改革の波のなかにあります。本文でも触れましたように、大学の性格・位置づけ（どのような大学をめざすか）、世界に通用する能力を持った学生の育成（世界で通用する大学卒業生の能力をどう養成するか）、キャリア教育の体系的実施（社会で役に立つ能力をどう養成するか）という3つのテーマに応えることが求められています。

私は平成16（2004）年4月に学長に就任し、同年10月に、「長岡大学改革の基本方針」を発表、そこから本学の大学改革＝教育力の再構築を開始しました。ここでは、次の基本理念（約束）と中期目標を掲げました。

<基本理念（約束）>

- ・長岡大学は「ビジネスを発展させる能力と人間力を鍛える大学」です。

<中期目標>

- ・産学連携による本学独自の「ビジネス能力開発プログラム」の展開により、企画力・提案力・人間力のある人材を養成し、もって、<4年後に就職率実質100%を実現する>こと。

今思えば、この改革の方針は上記の大学改革の波を先取りしたものでしたが、現段階は大学改革の波の速さに遅れそうになっていると、言わざるをえません。2つの現代GPプログラム等いわゆる競争的資金は確保してきましたが、「ビジネス能力開発プログラム」は中途段階ですし、<就職率100%>も実現できておりません。その意味で、非常に厳しい状況に置かれているというのが、現状です。

本ブックレットは、本学の教育改革がどのようなキャリア教育としてまとめられるかという観点から、再構成したものです。つまり、「学生の3つの就職力一体形成支援プログラム」のベースにある教育プログラム＝産学融合教育プログラムの特徴をキャリア教育の観点から整理し、そのもとでの就職支援活動のあり方をまとめたものであります。このように整理してみると、産学融合教育プログラムはかなりの成果を上げていますが、まだ、目標を達成できたとはとうてい言えない現実を認識させられてしまいます。

本学は、この「学生の3つの就職力一体形成支援プログラム」を推進しつつ、産学融合教育プログラムを仕上げて、地域社会で真に役に立ちかつ貢献できる職業人の輩出をめざして、一段の努力を傾注する覚悟であります。

このブックレットをお読みになった地域の皆様、保護者の皆様、学生諸君など多くの方々からご意見をいただければ幸いです。

平成23年3月

長岡大学のキャリア教育

長岡大学就職力形成支援推進本部

目 次

はじめに

第Ⅰ部 長岡大学のキャリア形成・就職支援の仕組みと展開

1	キャリア形成・就職支援の方針	1
2	キャリア形成・就職支援の仕組み	2
	(1) 学生サイドからみたキャリア形成・就職支援の仕組み	2
	(2) 1・2 年次の就職力形成	3
	(3) 3・4 年次の就職力形成	5
3	就職活動の基本フロー	7
	(1) 3 年次の就職活動日程	7
	(2) 就職活動の基本フロー	7
	(3) 社会人講座の展開	8
4	就職相談等支援体制ー全力で支援します！ー	17
5	就職等進路状況	18

第Ⅱ部 長岡大学の改革と産学融合教育プログラム

1	大学改革と長岡大学の教育	19
2	産学融合教育プログラムとその成果	20
	(1) 産学融合教育プログラムとは	20
	(2) 資格対応型専門教育プログラム	21
	(3) 産学連携キャリア開発プログラム	26
	(4) ビジネス展開能力開発プログラム	29
3	学生の満足度調査結果	35

第Ⅰ部 長岡大学のキャリア形成・就職支援の仕組みと展開

1 キャリア形成・就職支援の方針

平成22年度時点における長岡大学の人材育成目的とキャリア形成・就職支援の方針は、次の通りです。詳細は第Ⅱ部の1、2を参照されたい。

☆**育成する人材像**・・・＜幅広い職業人＞であると同時に＜地域社会に貢献しうる人材＞を養成します。

☆**教育プログラムと養成能力**・・・＜産学融合教育プログラム＞と＜就職力ナンバーワン計画＞（図表1-1）により、＜ビジネスを発展させる能力と人間力＞を養成します。

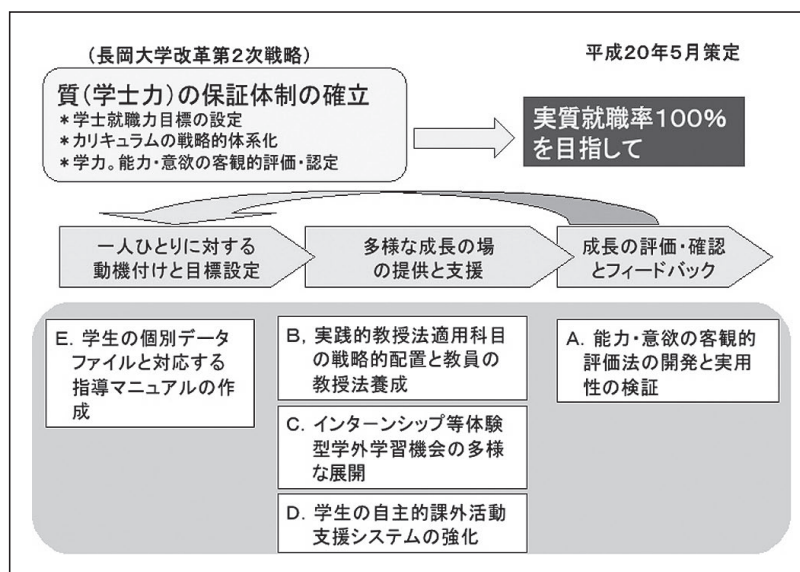
☆**就職支援の目標**・・・同計画にもとづき、＜就職率100%、4年次10月時点内定率90%＞を目指します。

①この目標達成が可能な「質（学士力）の保証体制」（動機付け・目標－実践的・体験型教育・学習－能力評価の仕組み）の確立を図ります（図表1-1）

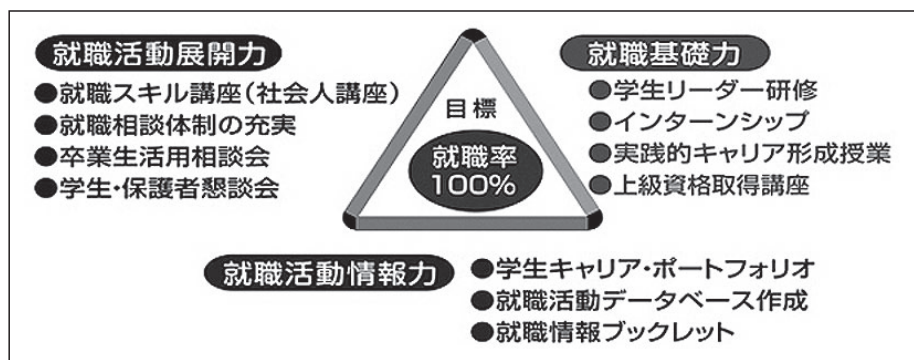
②より直接的には、3つの就職力（就職基礎力、就職活動情報力、就職活動展開力）養成を強力に支援します（図表1-2）

＊この3つの就職力養成事業は、平成21年度の文部科学省・学生支援プログラムに選定された本学申請の「学生の3つの就職力一体形成支援プログラム」で進めています（詳細は長岡大学ブックレット第26号、本学ホームページに掲載）。

図表1-1 「就職力ナンバーワン計画」の推進



図表1-2 学生の3つの就職力一体形成支援プログラム



2 キャリア形成・就職支援の仕組み

本学のキャリア形成・就職支援の仕組みは、＜産学融合教育プログラム＞を基本に、次のようになっています。

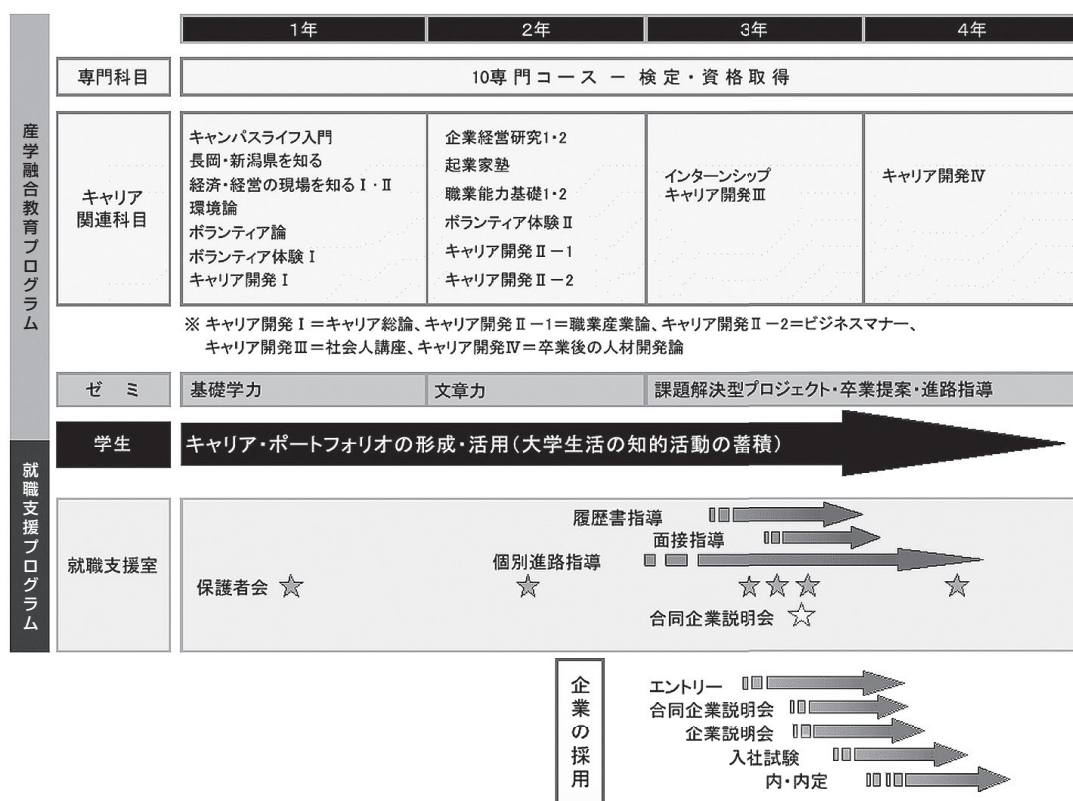
(1) 学生サイドから見たキャリア形成・就職支援の仕組み

本学のキャリア形成・就職支援の仕組みは、図表1－3の通りです。早期化する採用活動に対応して、キャリア形成と就職支援を体系的に進めています。1年次から就職に対する動機付けと基礎学力の向上に取り組み、内定の早期実現（4年次10月時点の内定率90％）と就職率100％を目指して、就職支援室と各ゼミが連携しながら就職支援・指導に取り組んでいます。これを学生サイドに立ってみると、次のような仕組みになります。

☆**1年次**・・・まず、1年次から、ゼミナールで基礎学力（数学力、国語力）を身につけるとともに、動機付けとなるキャリア（就職関連）科目を学びます。「経済・経営の現場を知る」（必修）や、「キャンパスライフ入門」、「長岡・新潟県を知る」、「環境論」（以上準必修）、さらに「ボランティア論」、「ボランティア体験Ⅰ」（選択）などに加えて、平成23年度からは、「キャリア開発Ⅰ」（キャリア総論）が必修になり、充実します。

☆**2年次**・・・2年次になると、ゼミナールで文章力の養成を行う一方、3年次からの本格的な就職活動に備えるキャリア（就職関連）科目で就職関連のノウハウを身につけます。「企業経営研究」、「起業家塾」、「ボランティア体験Ⅱ」などに加えて、「職業能力基礎」（SPI）やキャリア開発Ⅱ－1（職業産業論）、キャリア開発Ⅱ－2（ビジネスマナー）などの就職ノウハウに直結する科目（選択）で、就職力のベースを形成します。

図表1－3 長岡大学就職支援のしくみ



☆**3年次**・・・3年次になると、就職・進路選択を行うことになります。ゼミナール、「インターンシップ」およびキャリア開発Ⅲ＝「社会人講座」の3つが重要です。ゼミでは、課題解決

型プロジェクト等（調査研究）に取組み、4年次での卒業提案・論文に結びつけます。この過程で、企画・調査・提案力と社会人基礎力を向上させます。また、「インターンシップ」では、2週間の就業体験を通して、実践的な職業感覚・ノウハウを身につけます。さらに、キャリア開発Ⅲ＝「社会人講座」（就職スキル講座）では、年間を通して、直接的な就職活動に結びつく知識・ノウハウを身につけます。

そして、3年次の秋からエントリー、企業説明会等本格的な就職活動が始まります。大学院等進学者はゼミ教員に相談して、学習計画（4年次秋までの）を作成し、勉学に励むことになります。いずれの場合も、ゼミ教員－就職支援室が連携して学生に対する個別支援・指導を行います。

☆4年次・・・4年次では、ゼミ教員－就職支援室が連携して後期開始までの内定獲得に全力をあげ、後期はゼミナールにおいて卒業提案・卒業論文作成に入ります。

☆学生本人・・・学生諸君は、2年次から専門コース（2コース）を選んで専門知識＝検定・資格を身につけるとともに、ゼミナールやキャリア関連科目で**企画・調査・提案力－社会人基礎力の向上**を図ります。キャリア開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで就職意識やスキルをしっかりと身につける必要があります。これらの諸情報（論文・レポート等）を自らの**キャリア・ポートフォリオ**（大学生活の知的活動の集積システム）に蓄積し、その知的蓄積を生かして（履歴書／自己紹介書／自己PRに活用）、就職活動を進めます。そして、4年次前期中に内定を決め、後期からは、キャリア開発Ⅳで社会人になってからのキャリア形成・コンピーテンシー強化を学んで、卒業してください。

（2）1・2年次の就職力形成

この仕組みをやや詳しく説明します。1～2年次の就職基礎力づくりは、次のように進めています。

☆専門知識（学力）の養成－検定・資格受験－

本学のカリキュラムは、資格対応型専門教育プログラムで形成されています。情報処理能力は情報社会を生きる上で不可欠です。1年次から情報科目の学習を通して、情報関連検定資格（Word、Excel等）を取得するよう心がけてください。2年次からは、希望する**専門コース（ダブルコース制）**で専門科目を学ぶとともに、関連する検定・資格を取得します（22頁の図表2－3参照）。検定・資格が取得できると自信が付きさらに上位の資格・検定にチャレンジする意欲が高まります。この積み重ねにより、その成果を就職の際の自己紹介書／エントリーシートに書き込むことができます。年々、受験者・合格者数も増えています（21頁の図表2－2参照）。

☆就職基礎力－社会人基礎力の養成－

産学連携キャリア開発プログラムとして、多数の**実践的キャリア形成授業**が設けられています（26～28頁参照）。これらを学び、体験することにより、実践的知識・態度を身につけ、仕事への動機付けを高めます。なかでも、**起業家塾**（夏季集中・2年次科目）におけるビジネスプランづくり演習はその代表的科目です（図表1－4、本学ホームページ掲載の起業家塾報告参照）。他方で、1年次からのサークル活動・大学祭活動等の課外活動への積極的参加、2年次の学生リーダー研修への参加さらにアルバイトなども、こうした社会人基礎力を養う上で大いに役立ちます。

☆キャリア・ポートフォリオ作成

そして、学生は1年次から、自分のキャリア・ポートフォリオを活用して、就職基礎力の知的蓄積を着実に高め、3年次後期からの就職活動に役立ててください（就職活動情報力）。

図表 1-4 「平成 22 年度 起業家塾」概要

☆**起業家塾とは**・・・3～5人で仮想会社を立ち上げ、そのビジネスプラン（新アイデアの事業化計画）を競う、起業・ビジネスゲームです。

☆**起業家塾の狙い**

- ・卒業後も力強く活躍できるノウハウ・精神（社会人基礎力）を身につけること
- ・学生ベンチャーが起こり地域経済の活性化に貢献すること

☆**時期**・・・平成 22 年 8 月 16 日（月）～19 日（木）の夏期集中講座「起業家塾」（2 単位科目）

＜第 1 日＞8 月 16 日（月）

I 開講にあたって

- ・起業家塾開講にあたって 担当教員：原田 誠司
- ・社会人基礎力事前評価 ・プログラムの進め方について
当塾講師：(有)エムシーエー代表取締役、経営コンサルタント 小松俊樹 氏

II プログラム展開

- 1 チーム編成と役割検討
- 2 ビジネスプランとその作成方法

*特別講演・夢の実現をめざして - 創業とは -
マコー株式会社創業者

株式会社パルメソ代表取締役社長 松原 亨氏



＜第 2 日＞8 月 17 日（火）

- 3 アイデア出しの方法と作業
- 4 アイデア 2 案の中間発表と 1 案への絞り込み

＜第 3 日＞8 月 18 日（水）

- 5 絞り込み案のニーズ等調査
- 6 ビジネスプランのとりまとめ

＜第 4 日＞8 月 19 日（木）

- 7 発表用ビジネスプランの作成（図解）
- 8 ビジネスプランの発表
- 9 講評および表彰

審査委員長	長岡大学長 原 陽一郎
審査委員	マコー創業者／株式会社パルメソ代表取締役社長 松原 亨氏 長岡技術科学大学教授／テクノインキュベーションセンター長 田辺 郁男氏 ながおか新産業創造センター長 有本 匡男氏 産業デザイナー／前長岡造形大学教授 松丸 武氏

・社会人基礎力事後評価

・閉講のあいさつ ・表彰 長岡大学長 原 陽一郎



起業家塾ビジネスプラン 最優秀賞

会社名：四季はなび

事業名：花火を楽しむ男“ゆかた”の提案



コンテンツ賞	会社名：KGG 事業名：モジュール型自在住宅
コンビニエンス賞	会社名：YAMAGIWA 事業名：電子デバイスによる新しい名刺の提案
奨励賞	会社名：NCC～ながおかシティカンパニー～ 事業名：自転車によるエコなまちづくり
奨励賞	会社名：エコフードコーポレーション 事業名：生分解性プラスチックによる環境新製品開発

(3) 3・4年次の就職力形成

就職・進学活動は、3～4年次に本格展開します。大学院進学は各ゼミ担当教員が学生の相談を受けて、支援・指導しています。大半の学生は就職希望ですので、ここでは、主な就職力づくりについて紹介します。

☆上級検定・資格取得

3年次に就職基礎力をつける上で重要なのは、上級検定・資格の取得です。専門コースでの学習により、諸情報検定1級、簿記2・1級、販売士2・1級などを取得してください。資格対応型専門教育プログラムの充実にとともに、図表2-2（21頁参照）に示すように、上級検定・資格取得者が増えています。

☆インターンシップ／課外活動への参加

また、夏休みを活用して行われる2週間のインターンシップ＝就業体験は、実体験することにより、実践的な職業感覚・ノウハウを身につけ、社会人基礎力を向上させることができます。立派な就職基礎力の強化です。

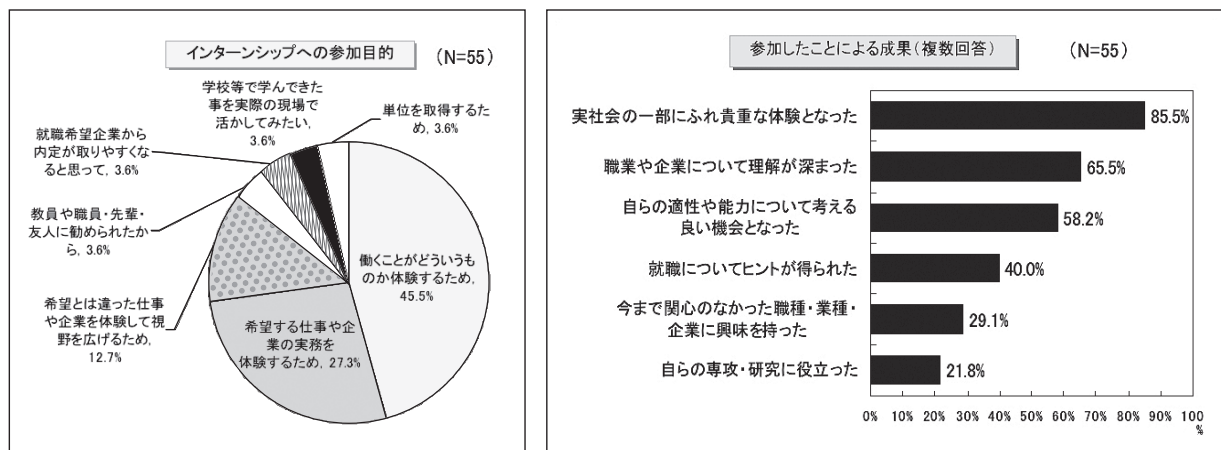
平成22年度のインターンシップは過去最高の38機関、45名（延55名）の参加で実施され（図表1-5）、参加学生の評価は非常に高くなっています（図表1-6）。学生の参加者増加傾向は、インターンシップ参加者は不参加者に比べて、早期に内定を得る傾向がみられるからです（図表1-7）。こうした傾向は、課外活動参加者においてもより明確に見ることが出来ます（図表1-8）。

つまり、インターンシップへの参加や課外活動への参加は社会人基礎力を向上させ、就職にとって極めて効果的であることがわかります。

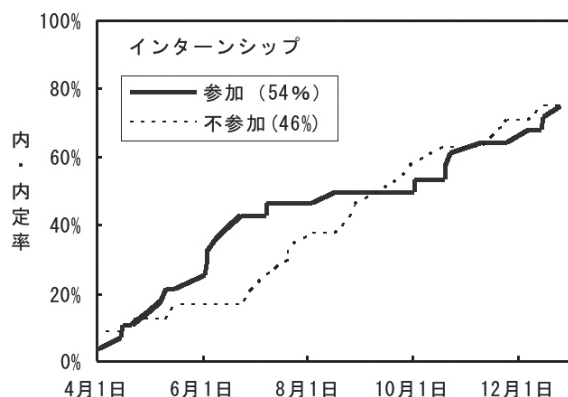
図表1-5 インターンシップ受入企業一覧（平成22年度）

(株)エフエムラジオ新潟、長岡商工会議所、原信ナルスホールディングス(株)、(株)ホクギン経済研究所、(株)新潟日報社、(株)アークベル、(株)上越観光開発 ホテルグリーンプラザ上越、(株)滝沢印刷、社会福祉法人／医療法人社団 しただ、三条市役所、(株)コープビル ホテルニューオータニ長岡、(株)新潟グランドホテル、(株)オーシャンシステム、(株)当間高原リゾート ホテルベルナティオ、新潟みらい農業協同組合、(株)高儀、(株)品川鋳造、(株)中央印刷、山崎醸造(株)、日精サービス(株)、医療法人 楽山会 三島病院、(株)オオミヤ オオミヤスポーツ、塩沢信用組合、越後製菓(株)、長岡都市ホテル資産保有(株) 長岡グランドホテル、特定非営利活動法人 まちづくり学校、財団法人 新潟県国際交流協会、(株)鈴木コーヒー、(株)第四銀行、一正蒲鉾(株)、(株)米百俵本舗、新潟市役所、新潟総合警備保障(株)、(株)イタリア軒、長岡技術科学大学、長岡市役所、(株)ハードオフコーポレーション、(株)ウオロク

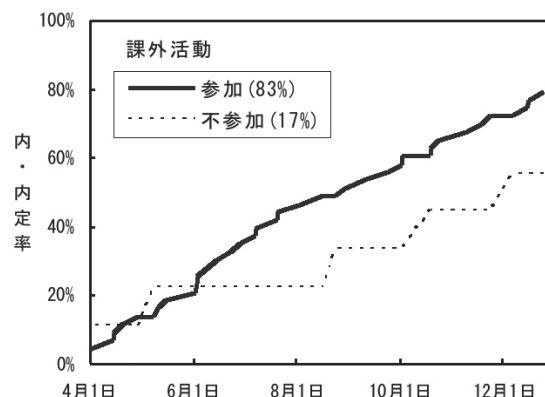
図表1-6 インターンシップ参加学生の評価（平成22年度）



図表 1-7 インターンシップ参加学生の内定時期
(平成 22 年度)



図表 1-8 課外活動参加学生の内定時期
(平成 22 年度)

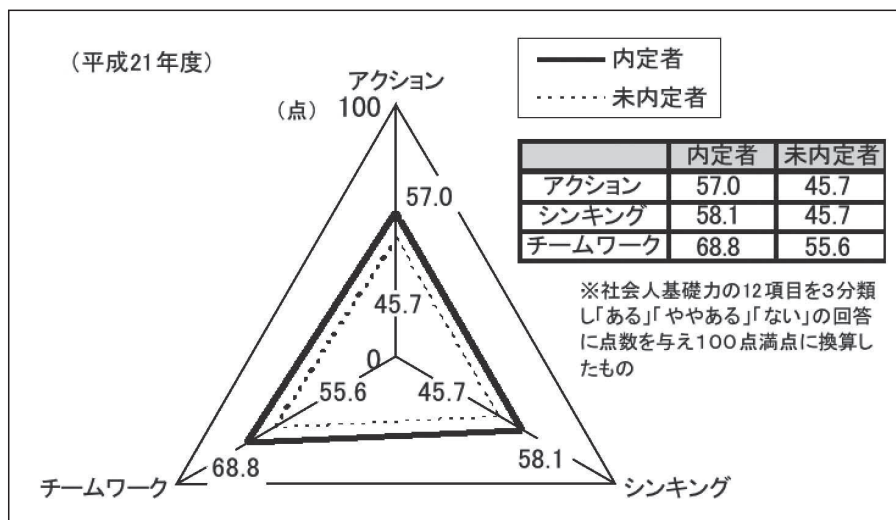


☆課題解決型プロジェクトへの参加

本格的な企画・調査・提案力と社会人基礎力の養成は、3年次ゼミでの課題解決型プロジェクトに参加し、やり遂げることによって大いに進みます。平成 22 年度は、9ゼミ 12 取組が行われました (29 頁の図表 2-6 参照)。具体的には、<まちの駅>プロジェクトや<ホームページ改善>プロジェクトの事例を参照ください (31 頁以降の図表 2-8~11 参照)。これらのプロジェクトは、参加した 3・4 年生の就職に大いに貢献しました。

事実、本学が毎年 12~1 月に実施している全学生対象の<学生満足度調査>結果 (35 頁以降の平成 22 年度満足度調査結果を参照) の分析によれば、図表 1-9 に見るように、4 年生 12 月時点での内定学生の社会人基礎力は未内定学生にくらべ、3つの力とも高くなっています。社会人基礎力の高い人の方が早く内定が決まる、と言えます。

図表 1-9 4 年次学生の社会人基礎力と就職内定・未内定別比較 (平成 21 年度)



☆社会人講座 (就職スキル講座)

3 年次秋から開始される本格的な就職活動を乗り切るための社会人講座=就職スキル講座は、就職活動展開力を身につける上で基本となる授業です。この授業は、次項で紹介するように、就職活動の進め方、労働・雇用市場、一般常識・SPI 模擬試験、自己分析、企業研究、エントリーシートの書き方、ビジネスマナー、面接練習など就職活動すべてにわたるスキルを年間 30 回で身につけます。

3 就職活動の基本フロー

では、このように3年次で本格化する就職活動を首尾良く突破するための就職活動展開力をどう養成するか。本学の具体的展開は次の通りです。

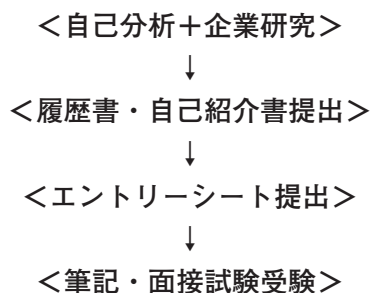
(1) 3年次の就職活動日程

3年次に本格展開する就職活動日程は、平成22年度は概ね次のようになっています。十分頭に入れてください。就職内定時期の早期化等への反省により、内定時期を遅らせる動きが出ていますので、今後の変化に注意をしてください。

時 期	主な就職事項／活動
4月～7月	・就職環境・状況の把握や筆記試験対策（適性検査、一般常識、SPI等）の開始。 ・自己分析／企業・業界研究の開始、夏休みも継続。
8月～9月	・マナー（言葉使い、身だしなみ等）の研修 ・インターンシップ研修への参加 ・OB訪問などで志望企業研究
10月～12月	*企業へのエントリー（就職意思Webで申込）開始（10月） *就職支援サイト本格オープン（にいがた就職応援団、マイナビ、リクナビ等、10月） ・自己分析（自己紹介書作成補助シート）と企業・業界研究を本格化し、履歴書・自己紹介書（自己PR）を作成 ・グループ討論、個人・集団面接等練習 *合同企業説明会開始（11月首都圏、12月新潟県内）
1月～4月	*企業個別説明会・会社訪問が始まる（1月～） *入社試験1次選考始まる（1月～） *入社試験2・3次選考ピーク（3月～） *内々定開始（4月～）
5月～9月	*内々定継続
10月～	*正式内定（内定式）

(2) 就職活動の基本フロー

こうした日程に対応して、就職活動の基本フローの骨格を示すと、次の通りです。



時期的には、標準的には、自己分析・企業研究は3年次の秋（10・11月）までに、履歴書・自己紹介書作成は年明け（1・2月）までに基本型を完成させ、エントリーシート提出と筆記・面接試験受験が4年次始め（2～4月）までに、行われます。

(3) 社会人講座の展開

この就職活動の基本フローに対応して、就職活動の展開力＝ノウハウを身につけるよう、社会人講座（4単位科目）を設定しています。必修ではありませんが、就職希望の学生は必ず履修してください。実際、ほとんどの3年生が履修しています。平成22年度の講座カリキュラムは図表1－10に示す通りです。

＜就職状況の把握＞・・・前期に、経済状況、労働市場さらには新規学卒労働市場の見通しなど就職状況について、外部の専門講師等による授業で学びます。後期にも、就職活動直前情報として行います。

＜適性検査等＞・・・前期のうちに、学生個々人の適性検査やSPI等筆記試験対策（SPIは2年次科目でも対応）を行い、自らの性格や弱点等を把握します。

＜自己紹介書＞・・・7月から11月にかけて（夏休み含め）、履歴書・自己紹介書（図表1－11）の作成を行います。学習面での取組、課外活動等学習以外での取組、自己PR（強み）の3つ（つまり、自己分析）を中心にして、自己紹介書作成補助シート（図表1－12）を活用して書けるように練習します。何回も書き直し、何とか、12月には一応まとめます。これが、就職エントリーシート作成の際の基本文書になります。就職活動に消極的な学生はこの文書作成ができていないケースが多くなっています。

＜企業研究＞・・・もう1つ重要なのは、企業選びです（7月～11月）。自分の希望を踏まえて、企業研究を行います。ホームページ、業界紹介本・雑誌、企業パンフレット等などで、企業研究シート（図表1－13）に書き込みます。対象企業の特徴を把握し、とくに、経営理念や社長のメッセージ、仕事の仕方、求める人材像などをきちんと把握し、自己紹介書の「志望動機」欄に記入できる材料を確保する必要があります。学生諸君は、この点に注意を払ってください。

＜面接等対策＞・・・10月～12月にビジネスマナー、面接練習などの就職活動の直接的ハウトゥ・ノウハウを身につける練習を行います（図表1－14）。

＜合同企業説明会とエントリー＞・・・11月から、合同企業説明会が始まります。2月には長岡大学主催の合同企業説明会も開催します。この説明会には、積極的に参加し、どんどんエントリー（就職情報／入社試験申込み等）してください。エントリーは基本的には、就職情報を確保する手段ですので、入社試験への実際の申込みは、きちんと判断して行いましょう。



図表 1 - 10 平成 22 年度 社会人講座

【社会人講座 前期】

回	日 時	内 容	担 当
1	4 月 14 日	就職活動の進め方 1 (全体のスケジュール)	教授 原田誠司
2	4 月 21 日	厚生労働省編一般職業適性検査 (G A T B)	教授 原田誠司
3	4 月 28 日	新潟県内の雇用状況について	長岡公共職業安定所 (ハローワーク長岡) 上席職業指導官 高橋利彦氏
4	5 月 12 日	企業から見た就職活動	(株)広報しえん (にいがた就職応援団) 代表取締役 山岸昌彦氏
5	5 月 19 日	一般常識模擬試験 1 就職支援室見学	教授 原田誠司 就職支援室 曾根孝雄
6	5 月 26 日	一般常識模擬試験 2 就職支援室見学	教授 原田誠司 就職支援室 曾根孝雄
7	6 月 2 日	インターネットの利用 1	(株)毎日コミュニケーションズ 新潟営業所 菊地晶氏
8	6 月 9 日	インターネットの利用 2	(株)毎日コミュニケーションズ 新潟営業所 菊地晶氏
9	6 月 16 日	先輩たちの就職活動	卒業生 + 4 年生内定者 5 名
10	6 月 23 日	S P I テスト 1	教授 原田誠司
11	6 月 30 日	S P I テスト 2	准教授 吉川宏之
12	7 月 7 日	自己分析・自己 P R	准教授 松崎陽子
13	7 月 14 日	V R T 職業興味検査	教授 原田誠司
14	7 月 21 日	ビジネスマナー 1	ホスピタリティ機構 認定講師 野中美木子氏 橘香織氏
15	7 月 28 日	ビジネスマナー 2	ホスピタリティ機構 認定講師 野中美木子氏 橘香織氏

【社会人講座 後期】

回	日 時	内 容	担 当
16	10 月 6 日	クレペリン検査	教授 原田誠司
17	10 月 13 日	企業研究 1	教授 原田誠司
		3・4 限 就勝美人講座	美容しょうへいの店 宮久恵氏・曾根智子氏・田中ひとみ氏
18	10 月 20 日	エントリーシート 1	准教授 松崎陽子 就職委員
19	10 月 27 日	エントリーシート 2 (グループワーク)	准教授 松崎陽子 就職委員
20	11 月 10 日	企業研究 2	教授 原田誠司
21	11 月 17 日	企業研究 3	教授 原田誠司
22	11 月 24 日	ビジネスマナー 3	(株)モアクリエイション 代表取締役 柴田光栄氏
23	12 月 1 日	ビジネスマナー 4	(株)モアクリエイション 代表取締役 柴田光栄氏
24	12 月 8 日	面接 1 (説明)	産業・教育カウンセラー 橋本康正氏
25	12 月 15 日	面接 2 (グループ面接)	産業・教育カウンセラー 橋本康正氏 (株)広報しえん (にいがた就職応援団) 西嶋弘重氏・野瀬山知巳氏・佐藤真弓氏 ハローワーク長岡 山口博之氏・松尾世子氏
26	12 月 22 日	履歴書・自己紹介書 3	教授 原田誠司
27	1 月 12 日	就勝出発式	(株)蓬平観光ホテル 和泉屋 常務取締役 金内智子氏
28	1 月 19 日	面接 3 (グループディスカッション)	産業・教育カウンセラー 橋本康正氏 (株)毎日コミュニケーションズ 新潟営業所 星野佳奈美氏
29	1 月 26 日	履歴書・自己紹介書 4	教授 原田誠司
30	2 月 2 日	本学合同企業説明会準備	教授 原田誠司

図表 1－11 自己紹介書（様式）

卒業論文・ゼミナール・得意科目・得意分野など（学生時代に力を入れた取組）
上記以外で学生時代に力を入れて取り組んだこと [課外活動（学外含む）・ボランティア・インターンシップ・ダブルスクールなど]
自分の強み（性格・能力・経験など）
趣味・娯楽など
資格・免許・特技・記録など
志望動機

図表 1－12 自己紹介書作成補助シート（様式）提出日： 年 月 日

ゼミ名		学籍番号		氏 名	
-----	--	------	--	-----	--

知識&12の 項 目	知 識 (学習と活動内容)	社 会 人 基 礎 力														
		前に読み出す力 (アクション)			考え抜く力 (シンキング)			チームで働く力 (チームワーク)								
		主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発進力	傾聴力	柔軟性	情報処理能力	規律性	ストレスコントロール力			
ゼミナール																
授 業																
部 活 サークル																
地域活動 (ボランティア)																
インターンシップ																
アルバイト																
資格・免許																
その他 (家庭生活など)																

図表 1－13 企業研究シート（様式）

（調査日： 年 月 日）（氏名： ）

会 社 名			
設 立 年 月			
代 表 者 名			
創 業 者 名		資本金	百万円
所 在 地	本社：〒 TEL（ ） FAX（ ） URL（ ） e-mail（ ） 営業所・工場・店舗等：		
従 業 者 数	総数： 人 内訳・男女別（男 人、女 人） 年齢別（20 代 、30 代 、40 代 、50 代以上 ） 職種別（総務系 、技術系 、営業系 、現場系 ）		
売 上 高	（ ）期（ 年 月～ 年 月） （約 ）百万円		
利 益	営業利益（約 ）百万円、売上高営業利益率（ ）％ 経常利益（約 ）百万円、当期利益（約 ）百万円		
1 沿 革			
2 経営理念・ビジョン			
3 経営の目標・戦略			

4 主な事業・商品	* 売上高、前年比増減もわかれば記入する
5 主な顧客・市場	* 主な事業・商品ごとの主な顧客・市場（輸出含む）を記入する
6 主な事業・商品の提供方法	* 主な事業・商品ごとの提供方法（製造・流通・販売方法）を記入する
7 経営の特徴・強み・課題	* 経営の仕方、ビジネスモデル、新技術、新製品開発、営業力等特徴・課題を記入する
8 人材育成等人事政策	* 社内教育、人事、賃金等労務関係を記入する
9 採用情報等	* 新規学卒採用情報を記入する
10 総合評価等	* 以上を総括して、総合的評価、質問点などを整理する

図表 1－14 平成 22 年度社会人講座風景



4月14日
就職活動の進め方 1 (全体のスケジュール)



4月28日
新潟県内の雇用状況について



5月12日
企業から見た就職活動



5月19日
一般常識模擬試験 1・就職支援室



6月2日
インターネットの利用 1



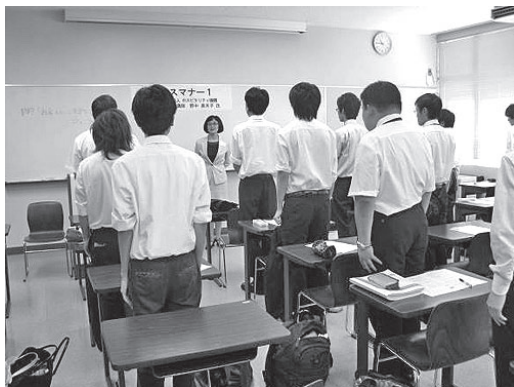
6月16日
先輩たちの就職活動



6月26日 長岡地区インターンシップセミナー
「長岡地区産業の特性」



6月26日 長岡地区インターンシップセミナー
「仕事ってすばらしい」



7月21日
ビジネスマナー1



7月21日
ビジネスマナー1



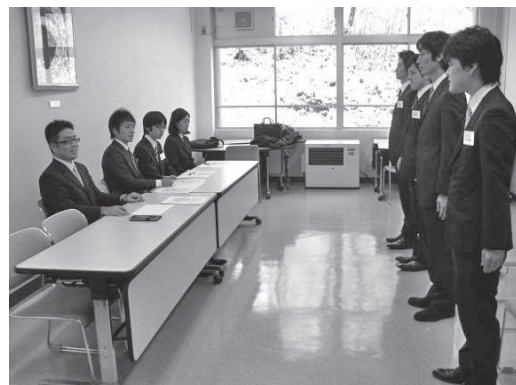
11月24日
ビジネスマナー3 ★マナーの基本



12月1日
ビジネスマナー4 ★電話応対等



12月8日
面接1 ★面接試験の基本



12月15日
面接2 ★グループ面接演習



1月12日
就勝出発式



1月19日
面接3 ★グループディスカッション

本学の就職等進路支援は次のように行っています。

1・2年次の学生諸君は、次のようにしてください。

- ①まず、ゼミナール（必修）担当教員に、月1回のマンツーマン面談時やオフィスアワーなどで、進路等何でも相談できます。ゼミ担当教員が進学や就職などさまざまな相談にのります。相談は、マンツーマン面談時やオフィスアワー以外でも歓迎です。
- ②就職活動全般は就職支援室が担当しています。どんなことでも、相談にのりますので、気軽に、いつでも訪問してください。

3・4年次の学生諸君の進学・就職支援は次のように行っています。学生諸君は、ゼミ担当教員、就職支援室を遠慮なく活用して、就職活動を積極的に進めてください。

- ①ゼミ担当教員－就職支援室と協同して、学生諸君の進路・就職支援を行います。
*大学院進学希望者にはゼミ教員が主として支援します。
- ②就職支援は、就職支援室－就職委員会が支援策を検討し、進めています。
- ③ゼミでは、マンツーマン面談等により、ゼミ学生の就職支援を行います。
- ④就職支援室は、様々な就職関連情報の提供、相談および就職試験対策など、全面的に学生諸君の就職活動を支援します。





長岡大学

長岡大学 学生支援プログラム
学生の3つの能力・体系形成支援プログラム

就勝出發式

＜平成22年度＞

1月12日(水)2限、226教室において就職活動を控えた3年生を対象に「就職出発式」が行われました。底力・活用能力が終くと、就職戦線に乗り出す3年生を激励するとともに、学生の皆さんにあつては決意を促していくべきことを目的としたものです。

来賓、理事・常務理事・副理事 池田孝昭氏 金内子氏より「思いやり・謙虚な気持ち・熱意の判断・恥を恐る気持ち等を忘れず、目標とする人を作て努力すれば自分に足りないものに気づくことができる」と、力強い言葉をいただきました。

次に、原部一朗学長より「今まで懸命に勉強してきたことと、社会で力を発揮するため。会社とは個性もあるもので、より多くの企業と会い、ぜひ、自分に合った企業を見つけるのがよい」と激励がありました。また、4年生予定者の方からアドバイスや就職の準備がうけられ、それを受けて3年生代表から「就職」への決意表明があり、最後に「就職がんばろう」と全員で大々的な掛け声を行いました。



4年生予定者からアドバイス



講演 理事・常務理事・副理事 池田孝昭氏 金内子氏



原部一朗 学長より激励



4年生予定者からアドバイス



3年生代表の決意表明



長岡大学、就職がんばろう！

激励のあいさつ

新年あけまして。よいは卒業後の道を定める年が明かれます。私の大学が大学として就職支援についての決意を表明します。まず、就職活動の心構えですが、く「なぜ就く」と「何を」の両方によればよいと希望で、粘り強くチャレンジされてください。就職活動に際しては、これまで、強ひねり、目標達成に努力したものの先見性などに、新しい価値観を策定し切てきました。先鞭にこう！

● **なぜ就く** ……一生懸命で、たいがいのは成し遂げられる。

● **何をすれば就く** ……途中で多少の失敗があっても結果とまうくゆけばよい。物事はしめくることが大切。

第2に、具体的進め方ですが、この春（2-4月）に必ず就職活動を受けて頂くものと。夏休明け（9月）までには、内定を獲得する必要があります。早く入社試験の申し込み、就職活動すること。内定まで、最終、2年生に入社試験を受けて、面接は卒業論文・卒業研究に際してです。それでの就職です。内定が難しい人は入社は入社試験を受けてください。

第3に、大学として、また、社会と就職支援の連携で、学生諸君の就職を全面的に支援いたします。企業、企業、自己紹介、エントリーシート、面接などとも、相談してください。さらに、就職支援室に利用し、情報収集・相談を積極的に行ってください。

どもにがんばろう！

長岡大学

長岡大学 学生支援プログラム
長岡の3つの就職力・体験型支援プログラム

<平成22年度>

長岡大学主催合同企業説明会を開催しました。

2月9日（水）、長岡グランドホテル・悠久の間において本学3年生を対象とした本学主催「合同企業説明会」を開催しました。今年度は、新潟県内の企業を中心に18の企業・団体にご参加いただきました。

参加企業は74名。訪問企業延べ327社。3時間という短い時間ではありましたが、終了時間が過ぎてまで真剣に説明を受ける学生が多く見られるなど、説明会効果のうちに終了しました。

平成23年2月9日

長岡グランドホテル2階「悠久の間」

次 第

1. 開会 13:30
2. 主催者あいさつ …長岡大学長 原 陽一郎
3. 学生あいさつ …3年 渡邊尚幸
4. 企業説明会 13:40～16:25
5. 主催者お礼 …就職委員長 原田誠司
6. 閉会 16:30

参加企業

医療法人慈恵グループ、株式会社コマリ、日産プリンス新潟販売株式会社、株式会社スズキ自販新潟、株式会社日産サティス新潟、新潟サンリツ株式会社、リコージャパン株式会社、株式会社ハードオコ・コーポレーション、株式会社星光堂薬局、丸福証券株式会社、防衛省自衛隊新潟地方協力本部、ワナベレグループ、ALSOX 新潟綜合信用保証株式会社、ゲームスタジオ林株式会社、北越印刷株式会社、日本郵政株式会社、株式会社オホボック、さくらメディカル株式会社

5 就職等進路状況

この4年間の本学の進学・就職等状況は、次の通りです。

☆進路・就職状況

長岡大学卒業生の進路・就職状況（人数）

産業経営学部 経済経営学部	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	平成20(2008)年 3月末現在	平成21(2009)年 3月末現在	平成22(2010)年 3月末現在	平成23(2011)年 3月18日現在
A. 卒業者数	101	59	76	103
B. 就職者数	77	49	47	59
C. 大学院等進学者数	4	0	10	7
D. その他	20	10	19	37
D1. 未就職者数	4	3	6	12
D2. 不就職者数	13	5	8	14
D3. 帰国留学生数	3	2	5	11
E1. 名目就職率	95.1%	94.2%	88.7%	83.1%
E2. 実質就職率	81.9%	86.0%	77.0%	69.4%

注1. $A = B + C + D$

【卒業者数=就職者数+大学院等進学者数+その他】

注2. 未就職者数は、就職を希望しながら就職できなかった人の数

注3. 不就職者数は、就職を希望しない人の数

注4. $E1 = B \div (B + D1)$

【名目就職率=就職者数÷(就職者数+未就職者数)】

※ 就職者数+未就職者数=就職希望者数

注5. $E2 = B \div (A - C - D3)$

【実質就職率=就職者数÷(卒業者数-大学院等進学者数-帰国留学生数)】

☆主な就職先一覧

ここ数年の主な就職先は、次の通りです。

越後ながおか農業協同組合、越後さんとう農業協同組合、にいがた岩船農業協同組合、越後おじや農業協同組合、日本精機株式会社、株式会社コロナ、株式会社雪国まいたけ、ツインバード工業株式会社、越後製菓株式会社、オンヨネ株式会社、株式会社第一印刷所、ナウエス精工株式会社、株式会社大光銀行、株式会社荘内銀行、株式会社八十二銀行、新潟証券株式会社、丸福証券株式会社、マルソー株式会社、株式会社七里商店、昭和電機産業株式会社、原信ナルスホールディングス株式会社、株式会社コメリ、アークランドサカモト株式会社、株式会社ハードオフコーポレーション、株式会社ツールボックス、セコム上信越株式会社、新潟総合警備保障株式会社、株式会社ホテルニューグリーン、株式会社中越カントリークラブ、さくらメディカル株式会社、社会福祉法人苗場福祉会、NPO法人支援センターあんしん、ほか（順不同）

☆主な大学院進学先一覧

ここ数年の主な進学先は、次の通りです。

新潟大学大学院現代社会文化研究科、長岡技術科学大学大学院工学研究科、上越教育大学大学院学校教育研究科、駒沢大学大学院経営学研究科、宮城大学大学院事業構想研究科、筑波大学大学院システム情報工学研究科、名古屋大学大学院経済学研究科、横浜国立大学大学院国際社会科学研究科、福島大学大学院経済学研究科 ほか（順不同）

第Ⅱ部 長岡大学の改革と産学融合教育プログラム

1 大学改革と長岡大学の教育

日本の大学は、今、大きな改革の波のなかに置かれています。長岡大学も積極的に、教育改革を進めています。大学改革は大きく、「大学の将来像」、「大学教育の質保証」および「キャリア教育」の3点です。

【大学の将来像】

「我が国の高等教育の将来像」（平成 17 年中教審答申）で、次の7つの大学の機能分化（特化）が提案されました。

- ・世界的研究・教育拠点、高度専門職業人養成、幅広い職業人養成、総合的教養教育、特定専門分野（芸術、体育等）の教育・研究、地域の生涯学習機会の拠点、社会貢献（地域貢献、産学官連携、国際交流等）

長岡大学は、＜幅広い職業人養成＞と＜社会貢献（地域貢献、産学官連携等）＞を担う大学として発展する道を選びます。

それは、本学が、次の**長岡大学建学の精神**に立っているからです（本学ホームページ掲載）。

☆幅広い職業人としての人づくりと実学実践教育の推進

☆地域社会に貢献しうる人材の育成

【大学教育の質保証】

「学士課程教育の構築に向けて」（平成 20 年中教審答申）で、**学士力**形成による質保証（ディプロマポリシー＝学位授与方針）、質保証の教育課程・成績評価（カリキュラムポリシー＝教育課程の編成・実施方針）、入学者受入方針（アドミッションポリシー）の3つの方針と公的・自主的質保証の仕組みの構築の明確化が示されました。

- * 学士力概念の構成要素→①知識・理解、②汎用的技能（コミュニケーションスキル、問題解決能力等）、③態度・志向性（自己管理能力、チームワーク）、④総合的な学習経験と創造的思考力

長岡大学は、**学士就職力（ビジネス展開能力・人間力）**形成による質保証（ディプロマポリシー）、**産学融合教育プログラム（カリキュラムポリシー）**および**社会に役立つ能力形成を志向する人物（アドミッションポリシー）**の3つを明示し、**自己評価・第三者評価**を受けてきました。

これは、平成 16 年の「長岡大学改革の基本方針」で、次のような基本理念と中期目標を提示し、教育改革を進めてきた結果であります（本学ホームページ掲載）。

☆長岡大学の基本理念（約束）

- ・長岡大学は「ビジネスを発展させる能力と人間力を鍛える大学」です。
- ・長岡大学は、学生に「毎日の大学生活で充実感を、能力アップを確かめて達成感を、卒業の時4年間を振り返って満足感を」実感させます。

☆長岡大学の中期目標

- ・地域産業界のニーズに直結した独自の「ビジネス能力開発プログラム」により、ビジネス発展のための企画力・提案力・実行力と人間力のある人材を育成する。
- ・就職率実質 100%をめざす。

- * 「ビジネス能力開発プログラム」を具体化したのが、上記の「産学融合教育プログラム」

なお、自己評価・第三者評価については、平成 21 年度に、財団法人日本高等教育評価機構により大学評価基準を満たしていると認定されました（認定期間:平成 21 年4月～平成 28 年3月31 日）（本学ホームページ掲載）。

【キャリア教育の義務化】

学士力概念は大学生の就業力養成へとつながり、大学設置基準の改正（第 42 条の 2。平成 23

年4月1日施行)により、大学には、「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力」の養成＝キャリア教育が義務付けられました。「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力」＝就業力ですから、就業力の養成＝キャリア教育ということになります。

長岡大学は、すでに明らかなように、平成16年の改革開始の時点から、ビジネス発展能力・人間力＝学士就職力＝就業力を養成するキャリア教育を先行して進めてきました。

なお、以上のような大学改革の流れのなかで、本学の次のようなプログラムが文部科学省の大学改革補助事業（補助金）に選ばれ、改革を進めていました。

- ・平成18～20年度 現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）「産学融合型専門人材開発プログラム－長岡方式－」
- ・平成19～21年度 現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）「学生による地域活性化提案プログラム」
- ・平成19～21年度 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム「長岡地域産業活性化のためのMOT教育『イノベーション人材養成プログラム』」
- ・平成21～23年度 大学教育・学生支援推進事業【テーマB】学生支援推進プログラム「学生の3つの就職力一体形成支援プログラム」

2 産学融合教育プログラムとその成果

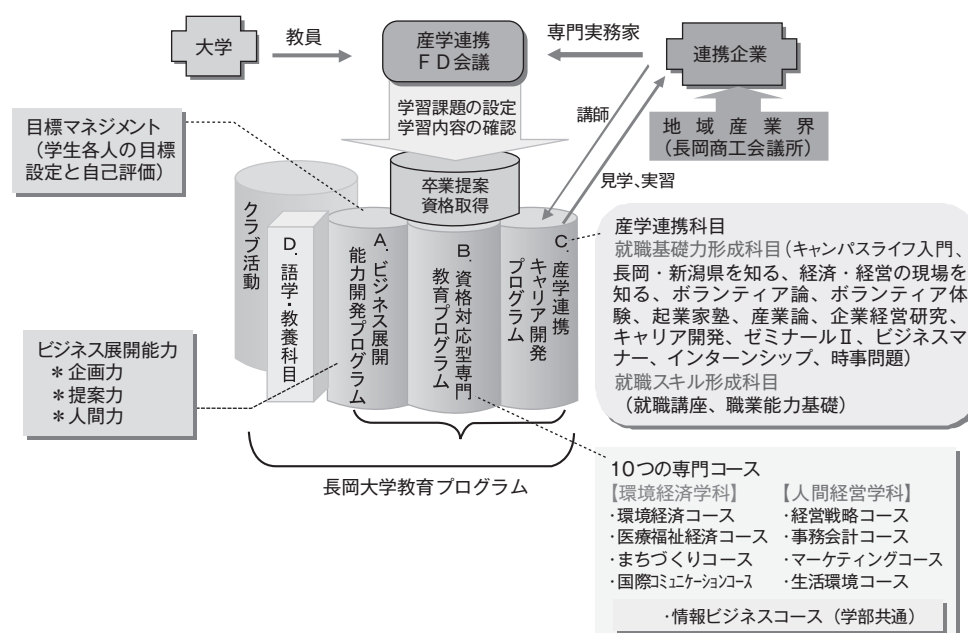
長岡大学の教育（キャリア教育）は、上記のように、＜産学融合教育プログラム＞によって進められています。その概要と成果は次の通りです。

（1）産学融合教育プログラムとは

＜産学融合教育プログラム＞は、平成17年度にスタートし、平成18～20年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」＝現代GPに選定された「産学融合型専門人材開発プログラム－長岡方式－」を継承した取組です。

このプログラムは図表2－1のように、資格対応型専門教育プログラム、産学連携キャリア開発プログラム、ビジネス展開能力開発プログラムの3つのプログラムで構成されています。

図表2－1 産学融合教育プログラム



(2) 資格対応型専門教育プログラム・知識力向上を検定・資格取得で確認！

図表2-1の右下欄に示すように、本学は2学科で、10のコース（履修モデル）を設けています。学生は、2年次から自ら望むコース（ダブル・コース）を選択し、専門分野の能力（知識力）を身につけます。その際、各専門分野の諸検定・資格取得につながるように、カリキュラム（科目）を配置し（図表2-3）、担当教員が指導・支援しています（受験方法、学習計画・方法等）。これが、資格対応型専門教育プログラムであり、産学融合教育プログラムの第1の特徴です。

図表2-2に見るように、年々、受験者数、合格者数ともに増大し、成果が上がっていることがわかります。この検定・資格取得だけで希望する企業等に就職できるわけではありませんが、大学時代の学習の成果を端的に示す指標であるとともに、何よりも、学生自身の努力の成果を示すものとなります。知識力（学力）の領域・レベルを端的に示すキャリア指標であり、就職の際には有力な武器になります。

図表2-2 検定・資格受験者・合格者数の推移（平成22年度3月22日現在）

試験検定試験	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
Excel表計算処理技能認定試験(1級)	4	3	5	3	8	5	8	5
Excel表計算処理技能認定試験(2級)	22	9	33	11	33	24	35	16
Excel表計算処理技能認定試験(3級)	29	24	18	10	34	25	20	11
Word文書処理技能認定試験(1級)	3	1	11	4	7	6	7	6
Word文書処理技能認定試験(2級)	21	7	31	13	55	22	61	30
Word文書処理技能認定試験(3級)	33	28	28	23	30	23	21	11
Power Pointプレゼンテーション技能認定試験(上級)	15	13	20	16	19	6	15	7
Power Pointプレゼンテーション技能認定試験(初級)	8	8	6	6	0	0	6	5
インターネットユーザー能力認定試験(上級)	1	1	0	0	1	0	-	-
インターネットユーザー能力認定試験(初級)	3	3	1	1	4	4	-	-
ネットワークアドミニストラー能力認定1	1	0	-	-	-	-	-	-
Webクリエイター能力認定試験(初級)	3	1	0	0	5	2	2	1
ITパスポート*1	-	-	0	0	24	1	29	2
日商簿記検定(1級)	0	0	0	0	-	-	8	0
日商簿記検定(2級)	5	0	6	2	30	7	20	6
日商簿記検定(3級)	34	6	38	11	24	7	26	8
販売士検定試験(2級)	3	0	0	0	11	3	15	7
販売士検定試験(3級)	9	2	20	10	29	19	32	15
秘書技能検定(2級)	15	10	13	7	5	3	-	-
秘書技能検定(3級)	8	4	6	4	10	5	1	0
経済学検定試験(EREミクロ・マクロ)*2	7		11		9		5	
経営学検定(初級)	-	-	-	-	5	2	26	16
経営学検定(中級)	-	-	-	-	-	-	1	0
国内旅行実務	-	-	-	-	1	1	-	-
環境管理士	-	-	-	-	1	1	-	-
福祉住環境コーディネーター(2級)	-	-	-	-	5	3	10	3
福祉住環境コーディネーター(3級)	-	-	6	0	16	9	17	7
ピアヘルパー	-	-	8	3	14	14	20	20
ファイナンシャル・プランニング技能士(3級)	-	-	1	1	-	-	-	-
消費者力検定	-	-	-	-	-	-	12	
TOEIC 600点以上	13	0	28	0	8	2	21	1
総合計	217	120	251	125	371	192	380	176

* 1 ITパスポートは2008年まで初級システムアドミニストレータ

* 2 経済学検定試験(EREミクロ・マクロ)、消費者力検定はランク判定のため、合格者数としては記入していない。

* 3 経済学検定試験(EREミクロ・マクロ)、消費者力検定、TOEICを除く。

図表２－３ 平成 23 年度の学科別履修モデル（コース）

1. 環境経済学科

a. 環境経済コース

環境経済コースは環境と調和する社会人を育成することを目的としたコースです。従来、経済学はどちらかといえば効率面が強調され、生活者との協議や自然環境への配慮が後回しにされる傾向が見られました。しかしながら、わが国は経済大国であると共に高度に成熟した社会です。そのような中で、求められる人材は、幅広い知識と考え方ができる人です。本コースでは、経済学の基礎知識を習得するとともに環境管理士やグリーンセイバーの資格取得をめざすことにより、非営利団体やエコをテーマとする企業への人材提供を目指します。

科目の位置づけ及び資格試験		1年生		2年生		3年生		4年生	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
資格対応科目	ERE、ERE ミクロ・マクロ	ミクロ経済学		ミクロ経済学演習		経済政策			
		マクロ経済学		マクロ経済学演習					
				金融論	財政学				
				国際経済学					
	グリーンセイバー資格検定（ペーパ）			グリーンセイバーⅠ 1（夏期集中）					
				グリーンセイバーⅠ 2（冬期集中）					
	グリーンセイバー資格検定（アドバンス）					グリーンセイバーⅡ 1（夏期集中）			
						グリーンセイバーⅡ 2（冬期集中）			
	eco検定	環境と社会1	環境と社会2	環境社会演習1	環境社会演習2				
		環境論			環境法				
資格対応科目以外の主要な科目	環境管理士（3級） （平成 23 年度のみ）			生活環境（集中）					
				企業と環境問題（集中）					
					環境法				
					環境経営				
		法学入門		中小企業金融論	環境経済学			非営利組織の経営	
		ボランティア論			時事経済			地域経営	
		ボランティア体験Ⅰ（集中）		ボランティア体験Ⅱ（集中）					

b. 医療福祉経済コース

医療福祉経済コースは単に医療事務管理士の資格取得を目指すばかりでなく、少子高齢化、住環境における問題、人と心の問題に向き合い、様々な面における弱者を少しでも助けることができる人材を育成するコースです。そのような考えに基づき、医療事務、福祉住環境コーディネーター、ピアヘルパー、社会福祉主事などの資格を取得し、広く福祉にかかわる分野で活躍できる人材の提供を目指します。したがって、ボランティア関連科目や高齢者と社会政策、家族社会学などの科目が重要な役割を果たします。

科目の位置づけ及び資格試験		1年生		2年生		3年生		4年生	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
資格対応科目	福祉住環境コーディネーター 2・3 級			住環境福祉論1	住環境福祉論2	地域福祉論			
				高齢者と社会政策					
	医療事務管理士					医学概論	保険請求論		
						社会保障論1	社会保障論2		
	ピアヘルパー A・B・C		心理学	ピアヘルパー1	ピアヘルパー2				
	社会福祉主事 (単位認定資格)		心理学	社会福祉概論		社会保障論1	社会保障論2	非営利組織の経営	
					地域福祉論				
					社会調査法				
資格対応科目以外の主要な科目	ボランティア論			生活環境（集中）	高齢者と社会政策			地域経営	
	ボランティア体験Ⅰ（集中）			家族社会学					
				ボランティア体験Ⅱ（集中）					

（注）資格対応で「社会福祉主事」は本学設置科目から厚生労働省指定3科目以上（社会福祉概論、心理学、社会調査法、社会保障論など）を単位取得することにより取得可能。

c. まちづくりコース

まちづくりコースは地域を活性化できる人材を育成することを目的としています。地方分権の進展や平成の大合併等、今まさに地域はその存在が重要視されています。そのような中で、「地域らしさ」を冷静に見極め有効な手だてを打つことが要求されています。このコースを履修した学生は広く経済学や法律、地域経済、地方行政を学ぶことにより、公務員やそれに準じる団体職員となり地域振興に貢献できるものと思います。併せて、このコースでは交流人口を増加させる観光にスポットも当てます。

科目の位置づけ及び資格試験		1年生		2年生		3年生		4年生	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
資格対応科目	ERE、ERE ミクロ・マクロ	ミクロ経済学		ミクロ経済学演習		経済政策			
		マクロ経済学		マクロ経済学演習					
				経済統計学	財政学				
				金融論					
	旅行業務取扱管理者（国内）			国際経済学					
			観光論	国内旅行実務		観光経済論			
資格対応科目以外の主要な科目		法学入門		社会問題と政策1	社会問題と政策2	社会調査法	社会調査法演習	地域経営	地域行政
				都市経済学	地域経済学	地域分析	地域産業政策		地域経済論
				産業論		労働経済学			
						日本経済論			

d. 国際コミュニケーションコース

グローバル化、ボーダレス化やインターネットの普及により大企業ばかりでなく地方都市に立地する中小企業にも国際化の波は押し寄せています。したがって、この国際コミュニケーションコースでは、経済学の学習と並行して語学学習に力を入れます。そうすることによって、国際人として活躍できる人材を育成しようとするものです。また、本学が新潟県にあるという地域特性から、環日本海を意識した中国語や韓国語にも触れられる履修モデルを作成しています。

科目の位置づけ及び資格試験		1年生		2年生		3年生		4年生	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
資格対応科目	ERE、EREミクロ・マクロ	ミクロ経済学		ミクロ経済学演習		経済政策			
		マクロ経済学		マクロ経済学演習					
				経済統計学	財政学				
				金融論					
	TOEICテスト	英語Ⅰ		英語Ⅱ		英語Ⅲ			
		英語ⅠS		英語ⅡS		英語ⅢS			
		中国語Ⅰ		中国語Ⅱ		中国語Ⅲ			
	中国語能力検定試験	中国語Ⅰ		中国語Ⅱ		中国語Ⅲ			
	ハングル技能検定試験	韓国語Ⅰ		韓国語Ⅱ					
	資格対応科目以外の主要な科目	グローバル・スタディ				日本経済論	世界経済論	ビジネス法規1	ビジネス法規2
									アジア経済論

e. 情報ビジネスコース

両学科に共通するコースとして、情報ビジネスコースを設置しています。コンピュータ利用技術は現代社会では必要不可欠な技術であり、専門分野が何であろうと重要なものです。本コースでは、企業における様々な局面（企画立案、営業、販売管理等）において必要な情報処理技術を有する人材を育成します。文書作成技術、表計算ソフト利用技術及びプレゼンテーション能力は中でもその基本です。本コースでは、さらに一歩進んで、セキュリティの問題を含め、インターネット利用能力や Web 作成技術に加え、様々なソフトウェアを組み合わせ、会社等で効率よくコンピュータを利用できる環境を作成できる能力も養うことができます。

科目の位置づけ及び資格試験		1年生		2年生		3年生		4年生	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
資格対応科目	Word 文書処理技能認定試験 (3級)	コンピュータリテラシー1							
	Excel 表計算処理技能認定試験 (3級)		コンピュータリテラシー2						
	インターネットユーザ能力認定試験 (上級、初級)	ネットワークリテラシー	インターネット概論						
	Word 文書処理技能認定試験 (1、2級)			文書処理ソフト利用技術					
	Excel 表計算処理技能認定試験 (1、2級)				表計算ソフト利用技術				
	PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験 (上級、初級)			プレゼンテーションソフト利用技術					
	IT パスポート			情報セキュリティ概論	情報処理の基礎1	情報処理の基礎2			
					情報システムの基礎1	情報システムの基礎2			
	Web クリエイター能力認定試験 (上級、初級)				コンピュータネットワーク1	コンピュータネットワーク2			
					プログラミング	情報ビジュアルデザイン			

2. 人間経営学科

a. 経営戦略コース

わが国の企業は、戦術は優れていても戦略がないといわれています。それは、人間の営みを理解していないことにその一部は起因しています。

本コースでは、資格としては経営学検定試験の合格を目指しますが、それ以外に、産業や経営に関する歴史、現在活躍している企業経営者の実体験を紹介する企業経営研究、法律なども含め広く学び、ビジネスマンとして活躍できる人材の育成を目標とします。このような知識は、小企業から出発する起業家や企業ないし家業の後継者にも共通なものです。地域社会の発展においてニュービジネスの創造は大きなポイントであり、将来の起業家や後継者が巣立つことを目指すコースでもあります。

科目の位置づけ及び資格試験		1年生		2年生		3年生		4年生	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
資格対応科目	経営学検定初級	経営学		企業論		経営学基礎演習			
			マーケティング入門	経営管理					
	経営学検定中級				現代経営入門				
資格対応科目以外の主要な科目				企業経営研究1	国際経営	経営戦略	人的資源管理	現代経営	
				マーケティング1	企業経営研究2	経営組織	産業史	中小企業論	
				ベンチャー企業論		企業経営史	マーケティング2	ビジネス法規1	ビジネス法規2
						コンプライアンス論			

b. 事務会計コース

事務会計コースは、企業における事務部門を統括できる人材を育成することを目的としています。事務会計の基本は当然の事ながら経理能力や会社内における人との協調性にあります。したがって、日商簿記検定や秘書検定を取得資格目標にしますが、それだけでは、今日の複雑・多様化した企業内で活躍できる人になれるわけではありません。そこで、本コースでは事務会計をもっと広義に捉えて、マーケティングや管理会計、ビジネス法規などに精通した人材を育成します。そうすることによって、事務部門の核となる人材に成長できるのです。

科目の位置づけ及び資格試験		1年生		2年生		3年生		4年生	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
資格対応科目	日商簿記3級	簿記入門1	簿記入門2	簿記入門演習					
	日商簿記2級			商業簿記1	商業簿記2	簿記演習			
				工業簿記1	工業簿記2				
	日商簿記1級					原価計算1	原価計算2		
資格対応科目以外の主要な科目			マーケティング入門		コンピュータ会計	管理会計	経営分析	ビジネス法規1	ビジネス法規2
				税務会計	ビジネス実務概論	消費者問題1			

c. マーケティングコース

新潟県の企業は、技術力はあるが営業力は低いといわれています。その結果1人当たり県民所得は全国平均を下回っています。この傾向は、大都市圏を除く多くの県で共通の課題となっています。マーケティングコースでは、製品開発や販売戦略に対して、企画提案できる人材の育成を目指します。そのために、総合的な学習目標として経営学検定と販売士の資格取得を置き、さらに、心理学やアンケート調査の方法と実践を学ぶ社会調査法などを設けています。

これらの科目は、まさに人の研究であり、人を無視した企業の発展などあり得ないとの信念からの科目構成となっています。

科目の位置づけ及び資格試験		1年生		2年生		3年生		4年生	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
資格対応科目	経営学検定初級	経営学		企業論		経営学基礎演習			
			マーケティング入門	経営管理					
				現代経営入門					
	販売士検定3級		流通論入門	商品学入門	商品学	販売士演習	マーケティング2		
				ロジスティックス					
				マーケティング1					
	販売士検定2級			ロジスティックス	商品学	流通論	販売戦略		
				マーケティング1		販売士演習	マーケティング2		
販売士検定1級				課外演習					
資格対応科目以外の主要な科目			心理学	プレゼンテーションソフト利用技術		経営戦略	社会調査法演習		
				ライフスタイル論		社会調査法			

d. 生活環境コース

マーケティングコースが企業側からの企画・販売戦略であるのに対して、生活環境コースは、生活者からの消費・生活面を扱います。

本コースでは、人とのふれあいを通じて、消費者の安全に気を配ったり安心感を与えたりできる人材や、ライフスタイルや経済生活をサポートできる人材を養成することを目的とします。人間の生活は多岐にわたっており、その全てを扱うことはできませんが、人が中心であることは紛れもない事実であり、秘書検定や消費者力検定、消費生活専門相談員、ファイナンシャルプランナーなどの資格を取得することにより、消費生活センターや金融機関で活躍できます。

科目の位置づけ及び資格試験		1年生		2年生		3年生		4年生	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
資格対応科目	日商簿記3級	簿記入門1	簿記入門2	簿記入門演習					
	消費生活専門相談員・消費者力検定			生活経済論1	生活経済論2	消費者の法律2	消費者の法律1		
				ライフスタイル論		消費者問題1	消費者問題2		
	ファイナンシャル・プランニング 技能士（3級）			資産運用計画1・2					
	証券外務員Ⅱ種			資産運用計画1・2					
資格対応科目以外の主要な科目			心理学	商品学入門	家族社会学				
			流通論入門	金融論	商品学				
					高齢者と社会政策				

e. 情報ビジネスコース

両学科に共通するコースとして、情報ビジネスコースを設置しています。コンピュータ利用技術は現代社会では必要不可欠な技術であり、専門分野が何であろうと重要なものです。本コースでは、企業における様々な局面（企画立案、営業、販売管理等）において必要な情報処理技術を有する人材を育成します。

文書作成技術、表計算ソフト利用技術及びプレゼンテーション能力は中でもその基本です。本コースでは、さらに一歩進んで、セキュリティの問題を含め、インターネット利用能力や Web 作成技術に加え、様々なソフトウェアを組み合わせ、会社等で効率よくコンピュータを利用できる環境を作成できる能力も養うことができます。

科目の位置づけ及び資格試験		1年生		2年生		3年生		4年生	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
資格対応科目	Word 文書処理技能認定試験 (3級)	コンピュータリテラシー1							
	Excel 表計算処理技能認定試験 (3級)		コンピュータリテラシー2						
	インターネットユーザ能力認定試験 (上級、初級)	ネットワークリテラシー	インターネット概論						
	Word 文書処理技能認定試験 (1、2級)			文書処理ソフト利用技術					
	Excel 表計算処理技能認定試験 (1、2級)				表計算ソフト利用技術				
	PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験 (上級、初級)			プレゼンテーションソフト利用技術					
	IT パスポート			情報セキュリティ概論	情報処理の基礎1	情報処理の基礎2			
					情報システムの基礎1	情報システムの基礎2			
	Web クリエイター能力認定試験 (上級、初級)				コンピュータネットワーク1	コンピュータネットワーク2			
					プログラミング	情報ビジュアルデザイン			

3. 全学生共通科目

文書処理ソフト利用技術と表計算ソフト利用技術の基礎的部分については全学生対象の必修科目とすることによって、学生が最低限のコンピュータリテラシーは確保できるようになっています。また、現在の大学教育は、単に研究の追求だけではなく、社会人基礎力を養うことが大きな命題となっていることを考慮し、ビジネスマナーやキャリア開発に関する科目も設置しています。

		1年生		2年生		3年生		4年生	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学部共通必修科目		ゼミナールⅠ前	ゼミナールⅠ後	ゼミナールⅡ		ゼミナールⅢ		ゼミナールⅣ	
		コンピュータリテラシー1	コンピュータリテラシー2			キャリア開発Ⅲ			
		環境論	キャリア開発Ⅰ						
		経済・経営の現場を知るⅠ	経済・経営の現場を知るⅡ						
	日本人学生	英語Ⅰ		英語Ⅱ		英語Ⅲ			
	日本人学生 （選択必修）	中国語Ⅰ							
		韓国語Ⅰ							
	留学生	日本語Ⅰ		日本語Ⅱ		日本語Ⅲ			
		日本事情							
学部共通推薦科目		キャンパスライフ入門	長岡・新潟県を知る	キャリア開発Ⅱ－1	キャリア開発Ⅱ－2			キャリア開発Ⅳ	
				職業能力基礎1	職業能力基礎2				

(3) 産学連携キャリア開発プログラム・・実践的な知識・態度を獲得！

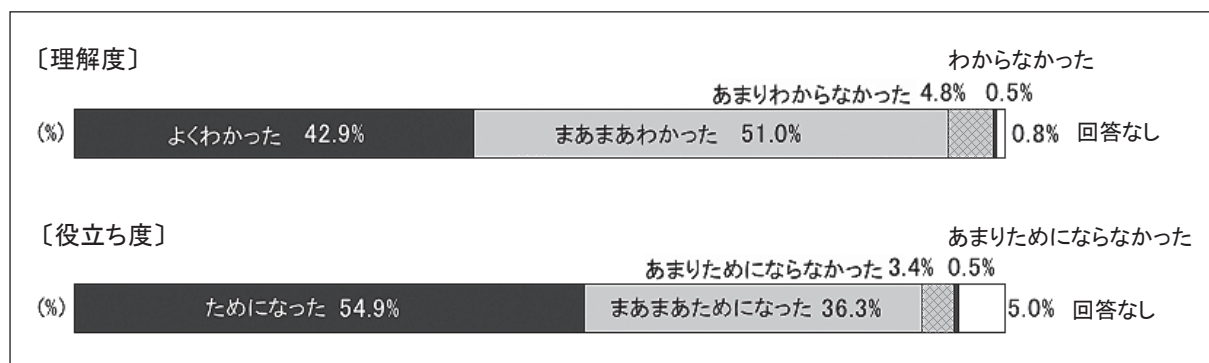
産学融合教育プログラムの第2の特徴を示すのが、産学連携キャリア開発プログラムです。というより、**産学融合**を端的に示すプログラムと言った方が適切です。連携企業等（長岡商工会議所、長岡市との連携協定がベース）との連携・協力のもとに、経営者・実務家の講義、企業見学、企業実習などを産学連携科目＝キャリア形成科目を中心に行い、学生が実践的な知識・態度を身につけるキャリア教育プログラムであります。この実践的キャリア形成授業は、学生が社会経済やビジネスの現場の知識・態度を理解し、かつ将来の職業人への動機付けに資することができるプログラムであり、学生の評価は非常に高くなっています。

平成22年度には、次のようなキャリア関連科目＝産学連携科目を中心に、20科目45回の実践的キャリア形成授業で、企業講師の授業や企業見学が行われました。


- ・1年次……………キャンパスライフ入門、長岡・新潟県を知る、環境論、ボランティア体験
- ・2年次……………企業経営研究1・2、キャリア開発、ベンチャー企業論、起業家塾、ビジネスマナー、ボランティア体験2
- ・3・4年次…産業論、地域産業政策、マーケティング2、非営利組織の経営、インターンシップ、社会人講座

これらの実践的キャリア形成授業に対する学生の評価（各授業終了時に理解度と役立ち度をアンケート調査）は、図表2－4に見るように、理解度も役立ち度も90%超の高さで、非常に高くなっています。また、これらの授業の授業風景をいくつか紹介すると、図表2－5に示すとおりです。

図表2－4 平成22年度実践的キャリア形成授業学生アンケート結果（n=625）



図表2－5 平成22年度実践的キャリア形成授業風景



キャンパスライフ入門（1年生）4月13日
大学生生活をいかに送るべきか

（株）ホクギン経済研究所
 副所長 河田 博氏

【概要】
 大学生と高校生の間には、大きな違いがあり、大学生は社会人として見られる。社会人としての自分を、この4年間で成長させるために①コミュニケーション力を高めるような友達づくりをする。②小さなことを大切にできちんとやる。③考えて行動する。④問題がでた時には、まず全体を見まわす。以上4点を心がけた生活を送ってほしい。



長岡・新潟県を知る（1年生）2月1日 放送メディアからみた長岡・新潟県

(株)テレビ新潟放送網
編成局長 駒形 正明氏

【概要】

新潟の民間放送局の現状と取材体験について

1. 放送の多様化と伸び悩む広告収入
 - ・地上波テレビの完全デジタル化
2. テレビ新潟とサッカー
 - ・プロサッカーの試合開催と地域の活性化
3. テレビ新潟と環日本海取材
 - ・ウラジオストク取材
 - ・韓国・ソ連離別姉妹46年ぶりの再会、他



ボランティア体験2（2年生）7月11日 国営越後丘陵公園（長岡市）

活動日：2010年7月4日（日）、11日（日）、
18日（日）、25日（日）、8月8日（日）

【概要】

2年次の科目となるボランティア体験2の活動場所は、受講生の関心領域に基づいて調整することからはじまる。これによって、ボランティア活動で肝要な‘自発性’を発揮し、より主体的な態度でのぞむことができるようになる。それには受入先の支援も欠かせない。学生は、こうした体験学習を通して、多くの人びとと出会い、社会の一員として公共活動に参加することの大切さを学んでいる。



環境論（1年生）8月5日 循環型社会をめざして 地域循環ネットワークの活動

NPO法人 地域循環ネットワーク
理事長 金子 博氏

【概要】

日本人の生活での無駄の大きさと、その無駄を少しでも減らそうと立ち上げたNPO地域循環ネットワークの活動と成果について。



企業経営研究1（2年生）7月27日 グローバル経済と企業経営の基本視点

(株)パルメソ代表取締役社長 /
マコー(株)創業者 松原 亨氏

【概要】

- ①グローバル経済への視点について
- ②企業経営の基本視点について
- ③今、なぜ創業・起業か
- ④その他－学生に望むこと－



企業経営研究2（2年生）11月2日 中小企業の経営の実態と経営手法

中小企業診断士 中村公哉事務所
所長 中村 公哉氏

【概要】

外食産業の経営、ホームセンターの経営について2回に分けてお話いただいた。

- ・企業がどんな人間を求めているか
- ・流動比率、自己資本比率から、本当に良い会社とはどのようなものか
- ・決算書について
- ・企業の戦略や手掛ける事業を調べ、分析すること（見方）



産業論（2年生）12月6日 新潟県内の卸・小売業、運輸業の現状

株式会社ホクゲン経済研究所
研究員 松原 明子氏

【概要】

- ①新潟県の卸・小売業、運輸業の現状
- ②卸・小売業の特徴と課題
- ③運輸業の特徴と課題
- ④その他－学生に望むこと－



ベンチャー企業論（2年生）5月10日 ベンチャー育成とインキュベータの仕事

ながおか新産業創造センター
センター長 有本 匡男氏

【概要】

- ①ながおか新産業創造センターの概要
- ②入居企業等の紹介
- ③ベンチャー支援の仕事
- ④ベンチャー育成の課題・方向
- ⑤その他－学生に望むこと－



非営利組織の経営（4年生）7月22日 NPO法人ながおか生活情報交流ねっとの現状と今後の方向

NPO法人ながおか生活情報交流ねっと 理事
農の駅あぐらって長岡 事務局長 高橋 秀一氏

【概要】

- ①NPO法人設立の趣旨について
- ②ながおか生活情報交流ねっとの理念、事業等について
- ③ながおか生活情報交流ねっとの運営・経営の課題について
- ④その他－学生に望むこと－

(4) ビジネス展開能力開発プログラム・企画・調査・提案力と社会人基礎力を養成！

第3の、というより最終のプログラムが、ビジネス展開能力開発プログラムです。つまり、資格対応型専門教育プログラムと産学連携キャリア開発プログラムの成果の上に立って、**産学融合**の総括的成果を示すプログラムであります。概ね、次の通りです。

- ・4年間通してゼミナール（必修）において、学生の成長・発展の指導・支援を行います（自己発展チェックシートを活用して、目標設定と自己発展をマンツーマン指導で支援。3・4年生には就職・大学院進学指導・支援）。
- ・能力養成面では、1・2年ゼミで、基礎学力や文章力を磨き、大学生の基礎能力を養成します。
- ・そして、3・4年ゼミでは、課題解決型プロジェクト等に取り組み、**企画・調査・提案力と社会人基礎力**を養成し、**卒業論文／卒業提案**をとりまとめます。

産学融合教育プログラムの最終成果と言うべき卒業提案は、3・4年ゼミにおける課題解決型プロジェクト等の成果を取りまとめたものです。この課題解決型プロジェクトへの取組は、「**学生による地域活性化プログラム**」（平成19～21年度の現代GPとして採択され、平成22年度以降も本学予算で継続展開）として行われています。

平成22年度は、図表2-6の通り、9ゼミ12取組として行われ、平成23年2月12日（土）にホテルニューオータニ長岡で成果発表会を行いました。また、その成果を社会人基礎力の向上度としてまとめると（参加学生、担当教員の評価）、図表2-7の通り、このプロジェクトが効果的であることがわかります。

このなかから、＜まちの駅＞と＜ホームページ改善＞の2つの取組・プロジェクトを紹介します（図表2-8～11）。＜ホームページ改善＞プロジェクトは、長岡産業活性化協会 NAZE の総会（平成23年3月9日 於・長岡グランドホテル 300名参加）で発表しました。

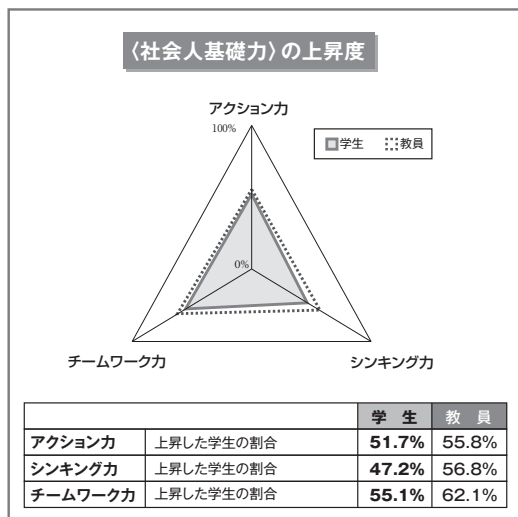
図表2-6 学生による地域活性化プログラム取組ゼミ・テーマ

ゼミ担当教員	22年度取組テーマ	参加学生数
菊池いづみ 准教授	長岡地域の在宅介護の現状と課題—家族介護者の負担を軽減するために—	16名
鯉江康正 教授	①楽しもう！越後長岡「まちの駅」	18名
	②出会いの街・ながおか カレンダー製作プロジェクト	7名
高橋治道 教授	地域コミュニティ活性化による豊かで安全・安心な暮らしを考える	7名
田邊正 講師	①中山間地における地域活性化の提案と実践	8名
	②長岡市における特産品の東京市場販売計画：小国和紙、新潟ラーメン	2名
原田誠司 教授	環境・リサイクル問題と取組について	2名
原田誠司 教授	企業の情報発信とホームページの役割（コンテンツ診断）	6名
村山光博 准教授	企業の情報発信とホームページの役割（システム診断）	6名
広田秀樹 教授	グラスルーツグローバルイノベーション（草の根地球一体化）	5名
山川智子 准教授	長岡周辺地域における健康管理と予防医療の現状	16名
吉盛一郎 教授	佐潟・福島潟・鳥屋野潟と地域との関わり・湿地の賢明な利用について	10名



図表2-7 プロジェクトの効果

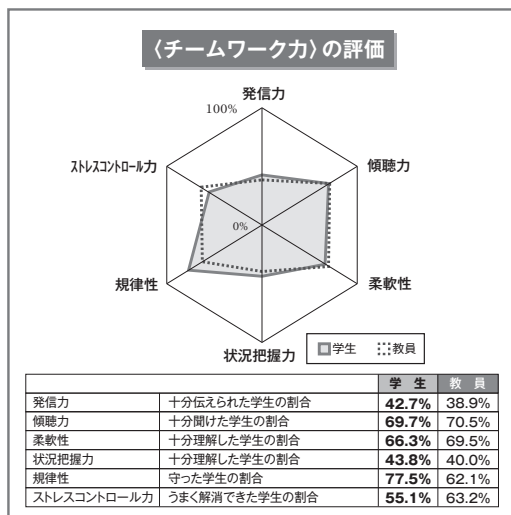
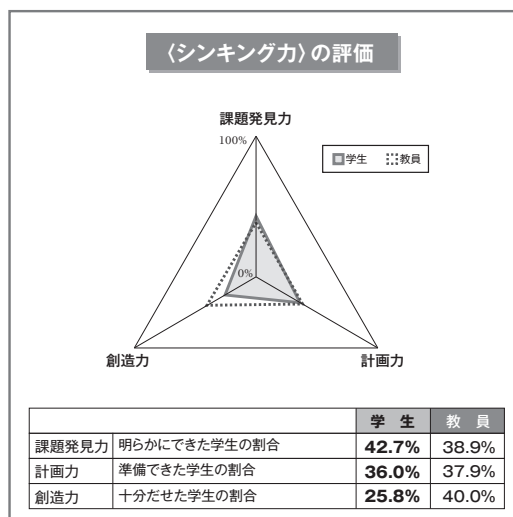
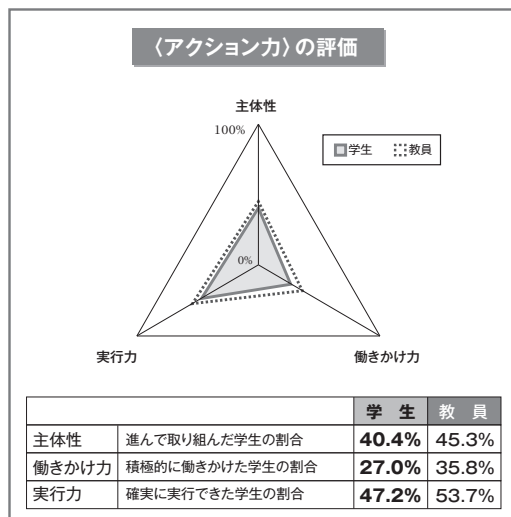
平成22年度地域活性化プログラムに参加した9ゼミ12取組の学生・ゼミ担当教員に、「社会人基礎力アンケート」を実施した。学生は自己評価（96人中回収数89）であり、ゼミ担当教員は各ゼミ生についての評価である。結果は次の図のようなグラフになった。



社会人基礎力は、「アクション力」「シンキング力」「チームワーク力」の3つの要素で構成されている。

それらの上昇度（取組前と取組後）は、学生の自己評価ではシンキング力が低いが、教員評価ではどの基礎力も6割前後の学生が上昇したと回答している。

この数値が高いか低いかは評価が分かれるところであろうが、プログラムとしては一応の成果がみられるのではなかろうか。



◆社会人基礎力の12の能力要素

アクション	主体性
	働きかけ力
	実行力
シンキング	課題発見力
	計画力
	創造力
チームワーク	発信力
	傾聴力
	柔軟性
	状況把握力
	規律性
	ストレスコントロール力

図表2-8 <まちの駅>プロジェクト



長岡大学
学生による地域活性化プログラム

平成22年度 活動報告

楽しもう! 越後長岡「まちの駅」



ゼミ教員
鯉江 康正 教授

ゼミ学生名
4年生: 石綿 真也 大井 拓朗 黒田 未奈子 小島 和幸 重野 友里 寺本 誉 山田 祐介 李 佩
3年生: 今坂 麻美 大平 卓弥 小嶋 さやか 粉川 大樹 小林 薫 関根 絢也 竹内 祐輝
中嶋 真悠美 中山 佳之 南雲 涼

取組みの目的

取組の目的は、「まちの駅」の活動を通して地域活性化へ貢献することである。具体的には、以下の3点を達成することにある。
①学生が地域と関わり合いをもち、地域に入り込むこと。
②合併前の旧市町村の相互理解を深めるお手伝いをする事。
③ゼミ生全体の社会人基礎力向上を図ること。

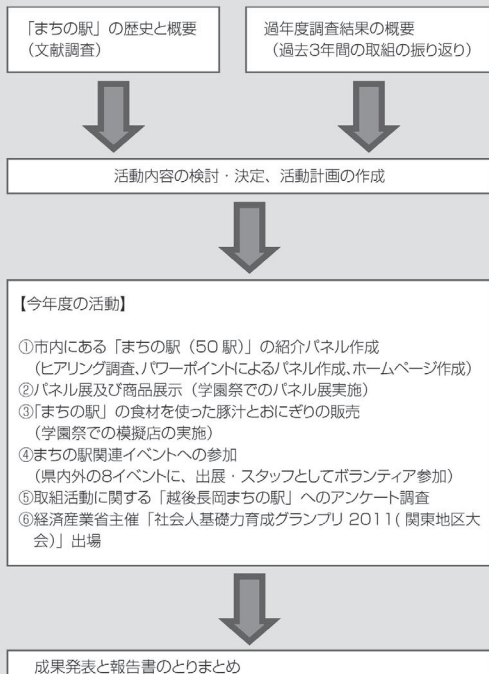


取組の成果

取組の成果は、『学生の成長』と『地域愛の醸成』にある。具体的には以下の点があげられる。

- ① 学生が地域と関わり合いをもち、地域に入り込むことにより、アクション力が大幅に向上した。50 駅へのヒアリングは並大抵のものではない。また、イベントに参加することにより、各自の役割を認識する力が向上した。50 駅を対象にヒアリング調査を実施したことにより、この取組の地域への認知度が大幅に向上した。
- ② 50 駅のパネルを作成し、それを紹介することで、合併前の旧市町村の相互理解を深めるお手伝いができたものと思われる。また、学生自身の「地域愛」を醸成することもできた。この点は社会人基礎力育成グランプリでも高く評価されている。
- ③ ヒアリング活動やホームページの作成、パネル作成によって学生の専門的技術が向上したことはもちろんであるが、活動の事後評価としてまちの駅へのアンケートを実施することにより、社会人基礎力の向上を実感できた。この点については、学生自身が「地域に向くこと、人とかわることの楽しさを感じられるようになったことが成長である」と述べていることから伺える。

研究の枠組みと方法



図表2-9 <大手通活性化>プロジェクト



長岡大学
学生による地域活性化プログラム

平成22年度 活動報告



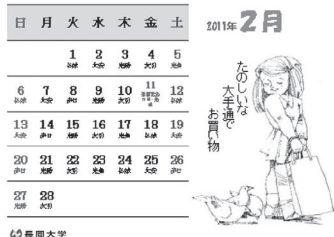
「出会いの街・ながおか」 大手通活性化プロジェクト

■ゼミ教員
鯉江 康正 教授

■ゼミ学生名
4年生：石綿 真也 大井 拓朗 黒田 未奈子 小島 和幸 重野 友里 寺本 誉 山田 祐介 李 佩
3年生：今坂 麻美 大平 卓弥 小嶋 さやか 粉川 大樹 小林 薫 関根 絢也 竹内 祐輝
中嶋 真悠美 中山 佳之 南雲 涼 石月 美沙世(菊池いづみゼミ)

取組みの目的

取組の目的は、「大手通にあるブロンズ像の原画を使い、大手通の魅力を学生が発信することで、市民の方々や周辺市町村の方々に大手通に興味を抱いてもらい出会いの街・ながおかに貢献すること」である。



取組の成果

取組の成果は、ブロンズ像とその原画という一つのものに着目して、大手通を考え、市民との双方向での活性化を考える仕組みを作ることができたことである。また、学生の成長も成果の一つである。具体的には以下の点があげられる。

- ① この取組に関しては、「何を目的として、何をしていくのか」の議論に約半年を費やした。その中で、学生は他人を批判し、信頼関係を失っていったが、誰も助けてくれないこと、責任を全うしなければならないことを学び、その後の3ヶ月で飛躍的に進歩を遂げた。
- ② イベントやカレンダー、ストーリーづくりを通じて、大手通の方々と交流を持てたことは大きい。
- ③ また、ホームページ上にメールフォームを用意し、ストーリーを投稿してもらったなど、今後の活動への足がかりをつくることもできたことも評価できる。

研究の枠組みと方法

(きっかけ)中越高校放送部の取組「街かど調査隊～出会いの街、長岡から～」→ブロンズ像の原画の魅力を活かしたい

・大手通の概要と歴史
・「ハイレイフステージ出会いの街」コンセプト調査
・モニュメントに込める想い(文献およびホームページによる調査、ヒアリング調査)

(活動内容のコンセプト)
・大手通の魅力を発信するために大手通の魅力発見。
・ブロンズ像及び原画を媒体とした大手通の魅力発信企画の実行。

【今年度の活動】

- ① 上記、文献調査とヒアリング調査をもとに、中心市街地の方々の大手通への想いを調査する。
- ② 大手通の魅力発見(学生による現地調査)
- ③ 「市民活動まつり」での「大手通ちびっ子探検ラリー」の実施(企画、イベント)
- ④ ブロンズ像の原画を活かした魅力発信(カレンダー作成、原画から想像したストーリー作成、デスクトップの壁紙作成、携帯電話の待ち受け画面作成、ホームページでの公開)

成果発表と報告書のとりまとめ



図表2-10 <ホームページ改善>プロジェクト



長岡大学
学生による地域活性化プログラム

平成22年度 活動報告

企業の情報発信とホームページの役割
—コンテンツ診断—



■ゼミ教員
原田 誠司 教授

■ゼミ学生名
4年生：野村 祐彰 野村 聡史 緒方 康幸 鈴木 茂樹 石丸 祐貴 榎本 啓樹

取組みの目的

ホームページは企業の情報発信や取引にとって重要な役割を担っている。我々は、NAZEと連携して、NAZE 会員企業のホームページ、とくに情報内容（コンテンツ）を診断し、改善提案を行い、ホームページの改善を通して、診断企業の情報発信力の充実・強化に役立てていただくこととした。

研究の意義

この調査研究は、企業にとっては若者＝学生の目からみたホームページの改善方向がわかり、参加学生にとっては、この調査研究を通して、企業研究による調査能力や社会人基礎力の向上を図ることができる。

主な分析結果

<大原鉄工所>

- ① 会社概要—資産状況などと売上高・利益が未掲載。
- ② 沿革・理念・戦略—沿革は充分だが、経営理念は未掲載であり、戦略も明示的ではない。
- ③ 仕事環境—技術、営業など大きくくりで仕事は紹介されているが、人材育成制度などの情報が掲載されていない。

<小西鍍金>

- ① 会社概要—従業員数と売上高・利益が未掲載
- ② 仕事環境—人材育成・仕事環境などが未掲載
- ③ 採用情報—一般求人・新規月卒採用がほとんど未掲載



提案と改善

<大原鉄工所への改善提案と改善>

- A 改善提案・・・売上高・利益、経営理念・戦略のホームページへの掲載、事業概要と仕事環境・採用情報の充実を提案した。
- B 改善・・・大原鉄工所は、上記提案を受けて、売上高および社・社訓・経営ビジョンを掲載し、事業概要と採用情報の充実を図りました。大いに感謝しています。

<小西鍍金への改善提案>

- A 改善提案・・・売上高・利益、経営理念・戦略のホームページへの掲載、仕事環境・採用情報の充実を提案した。事業概要については、非常に詳細で充実している。
- B 改善・・・現在、企業で検討中である。

研究の枠組みと方法

ホームページ診断は大きく、情報内容（コンテンツ）とシステム（機能）の2つに分けて評価した。コンテンツ診断は原田ゼミナール、システム診断は村山ゼミナールが担当した。

コンテンツについては、企業の情報内容が正しく取引相手や応募希望者に正しく伝えられるよう作成されているかを、企業研究シートに記入して、診断シート作成により診断・評価する。

診断・評価は、公正に行うため、6名のゼミ学生がそれぞれ企業研究シートと診断シートを作成し、総括して、アウトプットを集約した。

調査の枠組み

- ・調査対象企業・・・NAZE会員企業の株式会社大原鉄工所と株式会社小西鍍金の2社とした。
- ・調査項目・方法・・・両社のホームページや公表資料を見て、以下の項目について、企業研究シート、診断シートを作成、評価した。

- ① 会社概要等—会社名、代表者名、売上高、資本金、利益
- ② 沿革・理念・戦略等—沿革、理念、戦略、目標
- ③ 事業概要—主な事業・商品、主な顧客、主な提供方法
- ④ 仕事環境人事制度、仕事概要、仕事紹介、社風
- ⑤ 採用情報—募集職種、勤務条件、応募方法、求める人材像

調査の概要

- ・2つのゼミで、対象企業のホームページを分担して調査し、診断項目に現状を書き込む。
- ・参加学生メンバーが各項目ごとに、評価点をつけて、合計と平均を算出する。
- ・現状評価と診断評価点を見比べて、どこを改善すべきか整理する。
- ・改善点等を調査企業の社長に報告する。
- ・会社側の改善点等への回答および改善結果を把握する。
- ・調査結果は、NAZE会員にも情報提供を行う（総会で発表）。



図表2-11 <ホームページ改善>プロジェクト



長岡大学
学生による地域活性化プログラム

平成22年度 活動報告

企業の情報発信とホームページの役割 — システム診断 —



ゼミ教員
村山 光博 准教授

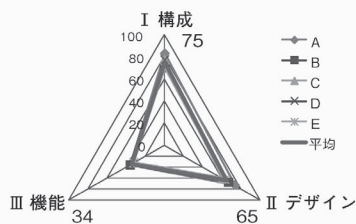
ゼミ学生名
3年生：池田 敬一郎 菊池 拓也 高野 里奈 竹田 隼人 笛木 香央里 山田 亮

取組みの目的

- 企業の情報発信の一つの手段としてのホームページの役割とあり方を検討する。
- 企業ホームページをシステム面から評価するための手法を構築する。
- 具体的には、企業ホームページシステム診断チェックシートを作成し、実際に適用を試みる中で、有効な評価項目を明らかにする。

システム診断

株式会社大原鉄工所ホームページのシステム診断結果



(注) 1 平成22年6月時点での評価
2 A～Eは評価学生5名の点数



改善提案

I 構成

- トップページにエントリーフォームへのメニューを追加することで、エントリーフォームに容易に到達できるようにしてはどうか。

II デザイン

- フレーム機能を使わないページデザインの検討をしてはどうか。
- 動画へのバナーを画面上部に配置してはどうか。
- クリックの前後でハイパーリンクの文字色を変える設定にしてはどうか。

III 機能

- トップページ右上付近に文字サイズの「大」「中」「小」の切り替えボタンを配置してはどうか。
- エントリーフォームに個人情報保護に関する記述を加えたほうが良いのではないかな。

研究の流れ

① 企業ホームページ調査

ホームページの特徴や工夫を調査・整理

② システム診断チェックシートの改善

チェックシートを見直し・改良を加えた

③ 企業ホームページのシステム診断

完成したシートを用いて、企業HPを診断

④ システム診断結果の分析

集計結果により、表およびグラフを作成

⑤ 改善提案

結果の分析、改善案の策定



株式会社小西鍍金 ヒアリング風景



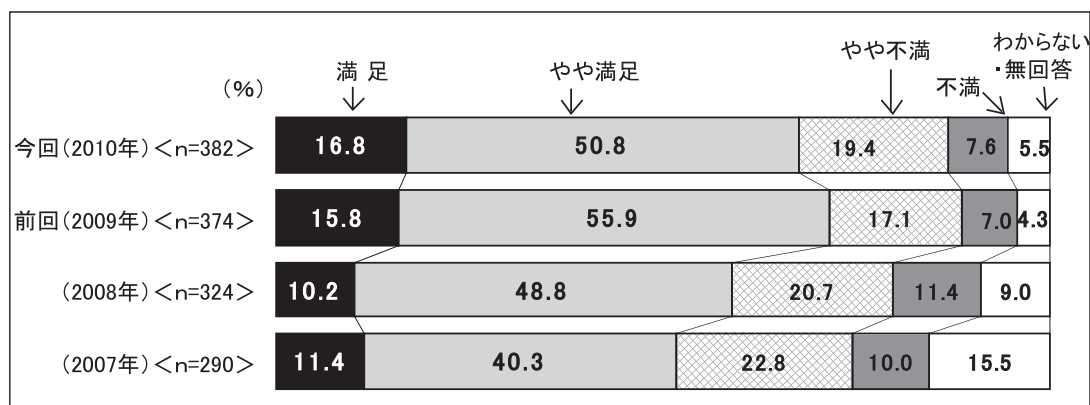
成果発表会の様子

3 学生の満足度調査結果

本学は毎年、12～1月に、全学生を対象に、本学の教育と学生生活に関する〈学生満足度調査〉（正式名称＝長岡大生の生活と大学についてのアンケート）を実施しています。平成22年度の最新の結果をご紹介します。充実感と満足感の評価はまあまあですが、達成感、とくに学力の自己評価はあまり高くなっていません。

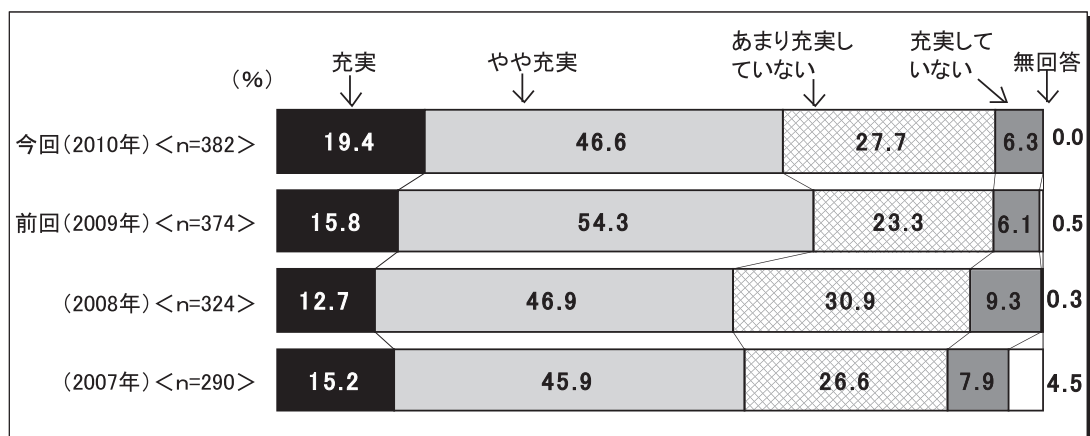
図表2-12 調査結果（全体）

1. 大学生生活の満足感 全体（日本人＋留学生）



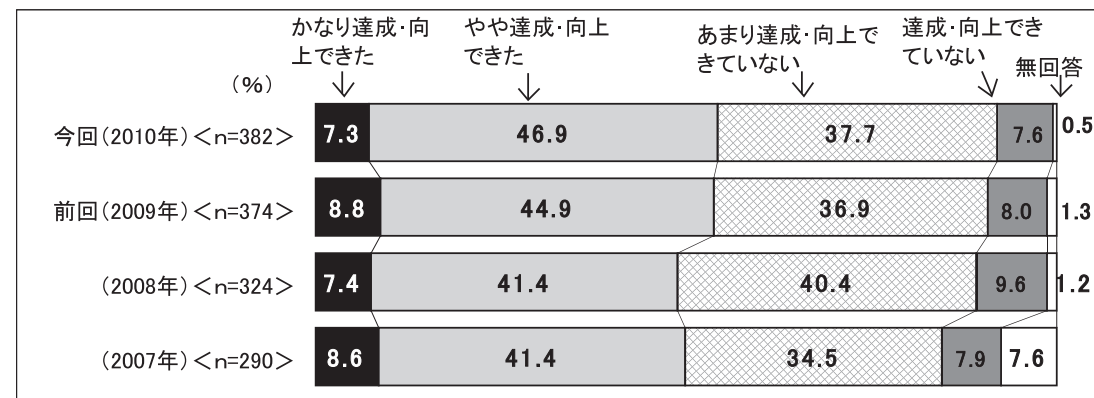
※ “満足（満足＋やや満足）”が67.6%、昨年よりも4.1ポイント減少。

2. 大学生生活の充実感 全体（日本人＋留学生）



※ “充実している（充実している＋やや充実している）”が66.0%、昨年よりも4.1ポイント増加。

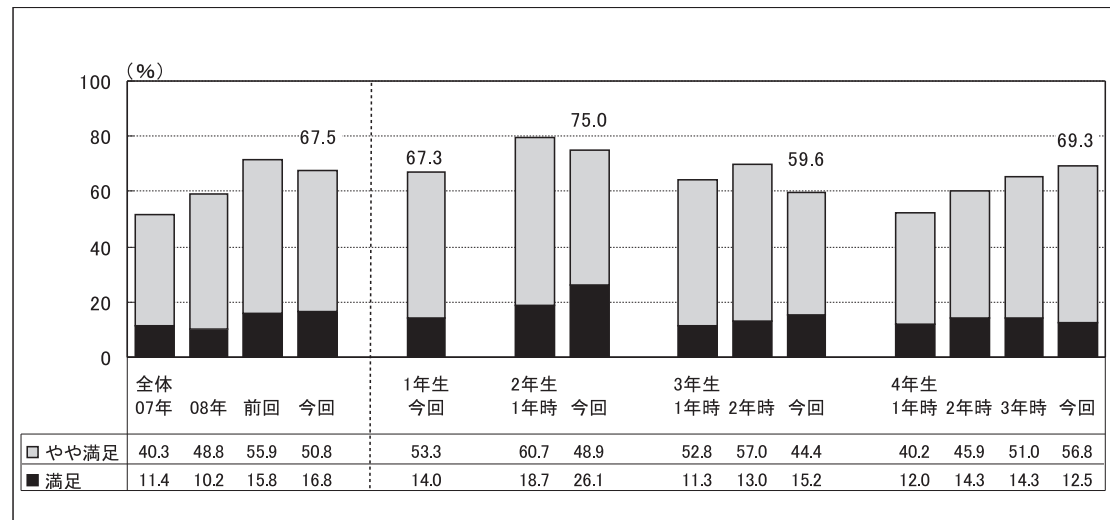
3. 達成感 全体（日本人＋留学生）



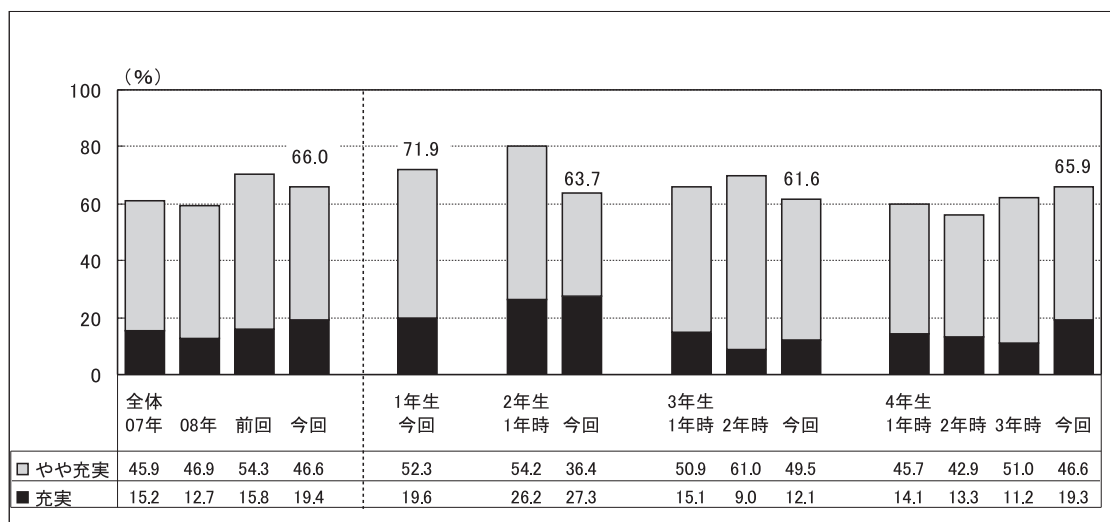
※ “達成・向上できた（かなり達成・向上できた＋やや達成・向上できた）”が54.2%、昨年よりも0.5ポイント増加。

図表 2-13 満足感・充実感・達成感の推移（全体）

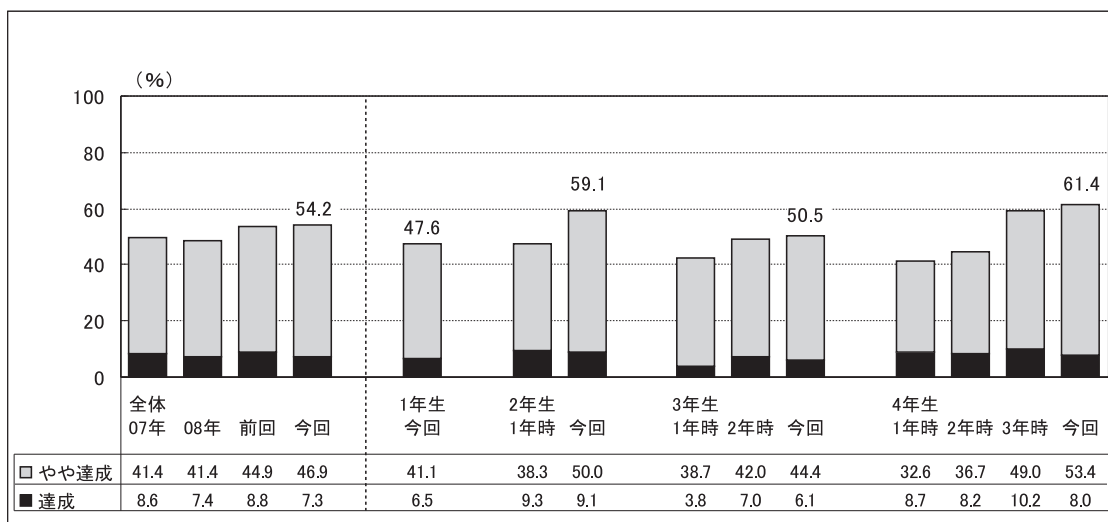
満足感の推移（全体）



充実感の推移（全体）

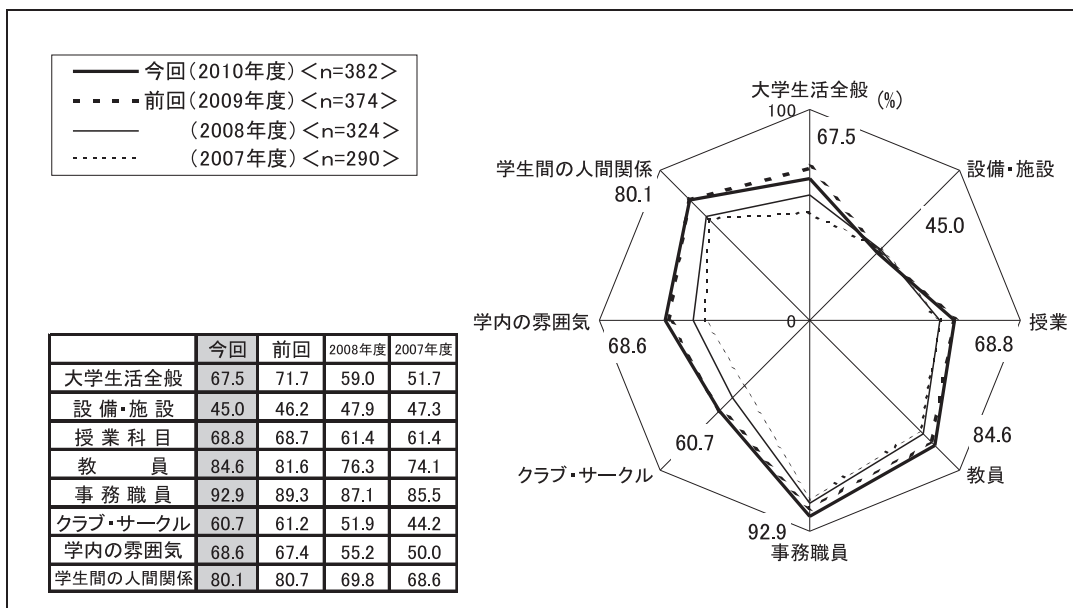


達成感の推移（全体）



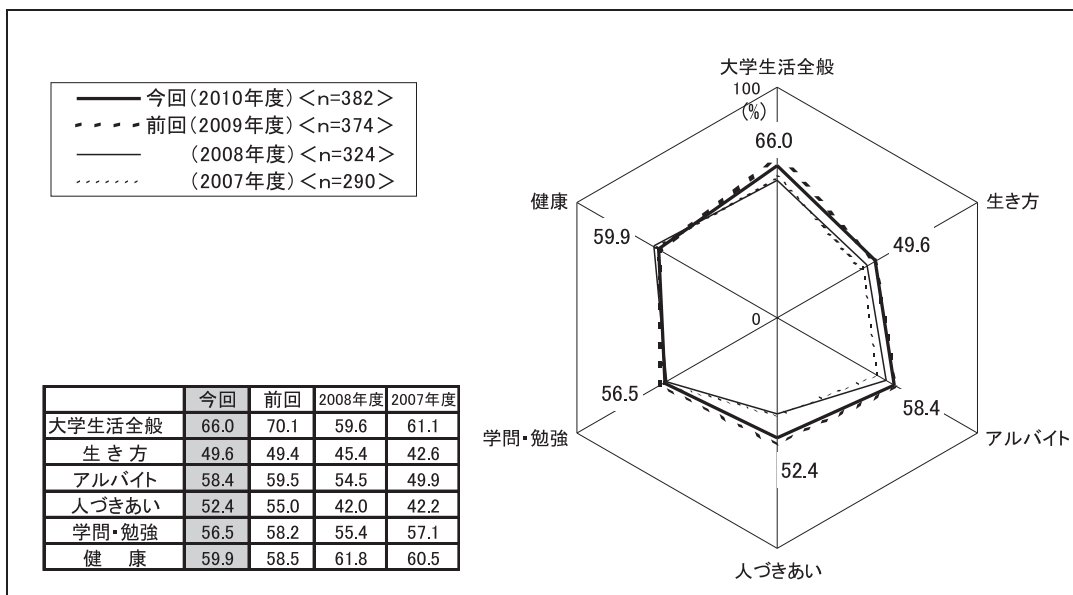
図表2-14 満足感・充実感・達成感の項目別グラフ（全体）

満足感の項目別グラフ（全体）



※「設備・施設」で“満足（満足＋やや満足）”と回答した割合が低い傾向は変わらないが、「事務職員」や「教員」、「学内の雰囲気」については、“満足（満足＋やや満足）”と回答した割合が年を追って高くなっている。

充実感の項目別グラフ（全体）



（注）各指標の構成項目は次の通り。

『生き方』:Q4a 人生・生活の目標を立てて過ごしている”Q4b 規則的な生活を過ごしている”の「あてはまる」「ややあてはまる」の回答を合計し、質問数2で割った平均値。

『アルバイト』:Q4c 社会に出てから役立つと思いアルバイトをしている”Q4d 授業の妨げにならない程度にアルバイトをしている”の「あてはまる」「ややあてはまる」の回答を合計し、質問数2で割った平均値。

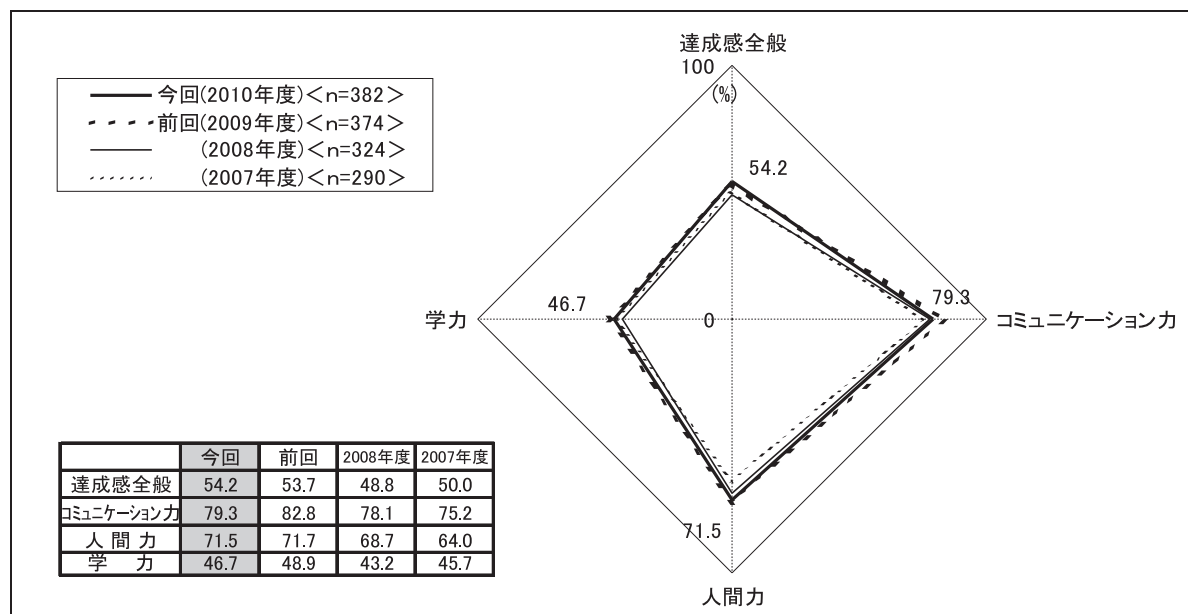
『人づきあい』:Q4e いろいろな学生と幅広くつきあっている”Q4f 教職員とコミュニケーションをとっている”の「あてはまる」「ややあてはまる」の回答を合計し、質問数2で割った平均値。

『学問・勉強』:Q4g 一般教養が身につけてきている”Q4h 専門的な知識が身につけてきている”の「あてはまる」「ややあてはまる」の回答を合計し、質問数2で割った平均値。

『健康』:Q4i 授業には必ず出席している”Q10Be 朝食は必ず食べている”の「あてはまる」「ややあてはまる」の回答を合計し、質問数2で割った平均値。

※ 印全体の傾向は大きく変わらないが、前回・今回と「人づきあい」の項目について、“あてはまる（あてはまる＋ややあてはまる）”と回答した割合が高くなる傾向がある。

達成感の項目別グラフ（全体）



（注）各指標の構成項目は次の通り。

『コミュニケーション』: "Q6a よい友達ができ""Q6b 気軽に人と話せるようになった"の「あてはまる」「ややあてはまる」の回答を合計し、質問数2で割った平均値。

『人間力』: "Q6c 自分の適性や性格がみえてきた""Q6e 物事をいろいろな角度から見ようになった"の「あてはまる」「ややあてはまる」の回答を合計し、質問数2で割った平均値。

『学 力』: "Q6h 文章の読解力や書く力がついた""Q6k 検定試験に合格した、資格を取得した"の「あてはまる」「ややあてはまる」の回答を合計し、質問数2で割った平均値。

※ 「コミュニケーション力」「人間力」の項目について“あてはまる（あてはまる＋ややあてはまる）”と回答した割合が高く、「学力」の項目について“あてはまる（あてはまる＋ややあてはまる）”と回答した割合が低い傾向は変わらない。

既刊号のご案内

◆ **ブックレット①**
アタマは鍛えれば強くなる 長岡大学長 原 陽一郎

◆ **ブックレット②**
授業評価の実態 ―学生満足度の高い授業とは―
長岡大学専任講師 平野 順子

◆ **ブックレット③**
ニートとフリーター ―揺れる若者の選択―
東京大学社会科学研究所 助教授 玄田 有史
ニート・フリーターとは何か ―資料で読む―
長岡大学教授 児嶋 俊郎

◆ **ブックレット④**
2005長岡大学「起業家塾」
長岡大学長 原 陽一郎 起業家塾担当教員 原田 誠司

◆ **ブックレット⑦**
現代GPシリーズ1 情報力を鍛える
―長岡大学における情報リテラシー・資格教育―
長岡大学助教授 村山 光博

◆ **ブックレット⑧**
現代GPシリーズ2 長岡大学教育プログラム
第Ⅰ部 現代GPとは何か―選定の特徴を読む―
第Ⅱ部 長岡大学キャリア教育プログラム

◆ **ブックレット⑨**
現代GPシリーズ3 長岡大学教育プログラムⅡ
第Ⅰ部 進化・発展する長岡大学の地域連携型教育研究
―地域づくり主体としての大学へ―
第Ⅱ部 学長インタビュー 地元企業との密接な連携教育で
ビジネス力、人間力のある人材を育成する

◆ **ブックレット⑩**
現代GPシリーズ4 第3回 長岡大学文化講演会特集
第Ⅰ部 若者の社会人基礎力を鍛える ―若者自立の教育を考える―
第Ⅱ部 パネルディスカッションニート・フリーターを出さない若者教育を考える

◆ **ブックレット⑪**
現代GPシリーズ5 2006長岡大学「起業家塾」
長岡大学長 原 陽一郎 起業家塾担当教員 原田 誠司

◆ **ブックレット⑫**
夢をかなえる長岡大学の教育プログラム
―平成19年度、環境経済学科・人間経営学科がスタート―
長岡大学長 原 陽一郎 長岡大学教授 鯉江 康正

◆ **ブックレット⑭**
長岡大学教育プログラムⅣ
学生公募型人間力育成プログラム
―プロジェクト型自主活動とリーダー育成―

◆ **ブックレット⑮**
長岡大学教育プログラムⅤ
長岡地域産業活性化のためのMOT教育
―イノベーション人材養成プログラム―

◆ **ブックレット⑯**
現代GPシリーズ6 長岡大学教育プログラムⅥ
学生による地域活性化提案プログラム
―政策対応型専門人材の育成―

◆ **ブックレット⑰**
現代GPシリーズ7
いま、なぜ大学改革か …21世紀の新しい大学像は
長岡大学長 原 陽一郎

◆ **ブックレット⑱**
現代GPシリーズ8 第4回 長岡大学文化講演会特集
第Ⅰ部 脳科学と教育―21世紀の新しい教育を考える―
第Ⅱ部 講師との討論 21世紀の新しい若者教育をめぐる

◆ **ブックレット⑲**
現代GPシリーズ9 2007長岡大学「起業家塾」
起業家塾担当教員 原田 誠司

◆ **ブックレット⑳**
現代GPシリーズ10 学生による地域活性化提案プログラム
―政策対応型専門人材の育成― 平成19年度成果報告

◆ **ブックレット㉑**
現代GPシリーズ11 情報力を鍛える
―長岡大学における情報リテラシー・資格教育―
長岡大学准教授 村山 光博

◆ **ブックレット㉒**
現代GPシリーズ12 第5回 長岡大学文化講演会特集
若者の自立支援とキャリア教育
放送大学教養学部教授 宮本みち子

◆ **ブックレット㉓**
現代GPシリーズ13 学生による地域活性化提案プログラム
―政策対応型専門人材の育成―
平成20年度成果報告（概要）

◆ **ブックレット㉔**
「米百俵の精神」と長岡大学
…長岡大学は「米百俵の精神」を受け継いでいきます。
長岡大学長 原 陽一郎

◆ **ブックレット㉕**
資格検定ガイドブック

◆ **ブックレット㉖**
学生の3つの就職力一体形成支援プログラム

◆ **ブックレット㉗**
現代GPシリーズ14 学生による地域活性化提案プログラム
―政策対応型専門人材の育成―
平成21年度地域活性化GPプログラム
学生による成果発表会（概要）

◆ **ブックレット㉘**
現代GPシリーズ15 学生による地域活性化提案プログラム
―政策対応型専門人材の育成―
社会人基礎力育成グランプリ出場報告

◆ **ブックレット㉙**
現代GPシリーズ16 学生による地域活性化提案プログラム
―政策対応型専門人材の育成―
平成19年度～21年度活動報告（概要）

◆ **ブックレット③①**
長岡地域産業活性化のためのMOT教育
「イノベーション人材養成プログラム」
長岡大学イノベーション人材養成講座
平成19～21年度成果報告書

◆ **ブックレット③②**
長岡大学のグローバルスタディ
―21世紀の基盤精神「グローバルマインド」を身につける学習
プログラム―

◆ **ブックレット③③**
大学とはどういうところか？
―高校生の進路選択のために―プログラム―〈2010年版〉

◆ **ブックレット③④**
楽しもう！越後長岡「まちの駅」
～長岡大学鯉江ゼミナール 地域活性化への取り組み～

長岡大学ブックレット ③④

【発行日】平成23年3月25日
【編集】長岡大学ブックレット編集委員会
【発行】長岡大学 就職力形成支援推進本部
〒940-0828 新潟県長岡市御山町80-8
TEL.0258(39)1600(代) FAX.0258(33)8792



**NAGAOKA
UNIVERSITY
BOOKLET**